市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	浦添市来ワ来ワ推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	都市建設部都市計画課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	浦添市の観光資源を創出するため、調査を委託し、課題抽出及びケーススタディ等を実施する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,028				
	(b) 予算現額	8,028				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	8,028	0			
B. 執行済額		5,638				
うち交付金充当額		4,510				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		70.2%				
予算の状況の説明		・不要額が2,390千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光資源、まちづくりの課題抽出	目　標	（　基礎的調査　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基礎的調査			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	本市の魅力（観光資源）を発掘・創出することを目的として、上位関連計画等の整理、観光資源の把握、関係部局等ヒアリング調査、モデル地区のケーススタディ及び現地調査等を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　25年度）
観光資源、まちづくりの課題抽出	目　標	（　－　）	（基礎的調査）	（　）	（　）	（　基本計画の策定　）
	実　績		基礎的調査			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	調査の結果、課題となった地区及び公共交通空白地域の改善の検討

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	1．観光の観点から：新たな「観光拠点」の形成、「歴史・文化資源」の活用、「沖縄らしい風景や場」の創出、移動しやすい交通システム構築等。 2．まちづくりの観点から：新たな「拠点」「都市軸」の形成、人に優しい都市基盤の形成、災害に強いまちづくり、密集市街地の改善対策、公園・緑地の整備等、地域コミュニティ等。	①屋富祖大通りの観光まちづくり。 ②密集市街地の改善及び防災等の面から狭隘道路の解消。 ③その他シンボルロード沿道等の土地利用。

今後の取り組み方針

抽出された課題をもとにまちづくりを検討。
①屋富祖大通りの「観光まちづくり」について、沿道と一体化した市街地整備シュミレート並びにワークショップ等の開催を検討。
②モデル地区における「密集市街地の改善」について牧港補給基地跡地利用と連繋した具体的な事業手法の検討並びに、公共交通空白地帯の解消を検討。
③その他の地区についてはシンボルロード沿道、シリンカー周辺の土地利用の在り方を検討。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,638	5,638	4,510	1,128	

浦添市 5,638千円 ― 委託料 5,638千円 ― 日本測地設計　株式会社 5,638千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により決定した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時は見積書により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－②	浦添市歩いて楽しいまち探検推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３章－３－（２）－イ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	美らまち推進課	事業実施（予定）年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）

事業内容

観光地としての価値向上に資するため、植栽設置工事や草花配布等を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,025				
	(b) 予算現額	5,025				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,025	0			
B. 執行済額		5,025				
うち交付金充当額		4,000				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画どおり予算執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市民への草花配布件数　45件	目　標	（　45件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	45件			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：観光地としての価値向上に資するため、植栽設置工事や草花配布等を行い、目標どおり達成することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
市民への草花配布件数　45件	目　標	（　－　）	（　45件　）	（　）	（　）	（　70件/年　）
	実　績		45件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：H24年度植付面積　1408m2　延長　1076m。

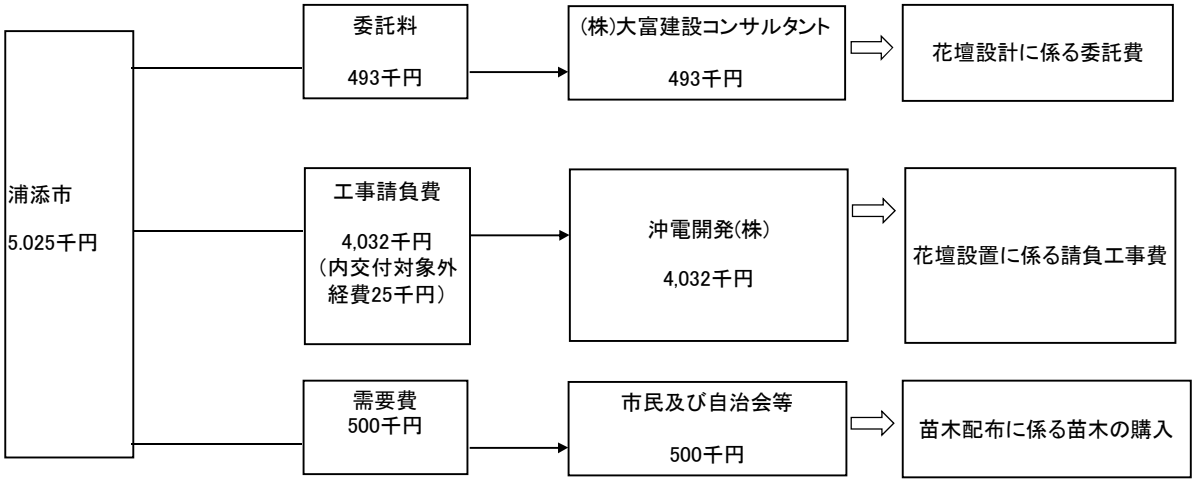
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今年度は43箇所の苗木配布があった。 配布先の市民が増えない傾向にある。	次年度から、緑化講習会などを開催し、市民にアピールしたい

今後の取り組み方針

今年度の配布件数は43件であったが、緑化講習会などを開催し、市民にアピールして、配布件数を増やしていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,025	5,000	4,000	1,000	25



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負者は指名入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○配布した苗木は、道路等の公共施設に植栽され、生育も問題なく、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－③	美ら道推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	都市建設部　道路課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	観光地としての価値向上に資するための道路整備に努め、道路の安全性・快適性の確保を図る。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（ ）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,780				
	(b) 予算現額	3,654				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 126				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,654	0			
B. 執行済額		3,654				
うち交付金充当額		2,923				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・予算減は、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
整備箇所2カ所(勢理客地内215㎡・城間地内109㎡)	目　標	（　2ケ所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2ケ所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	活動目標は、すべて達成した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
整備箇所2カ所(勢理客地内215㎡・城間地内109㎡)	目　標	（　－　）	（　2ケ所　）	（　）	（　）	（　－　）
	実　績		2ケ所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	成果目標は、すべて達成した。

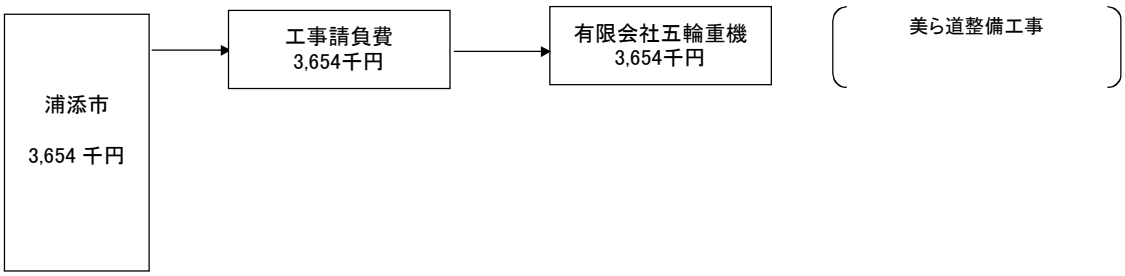
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	あまくま歩っちゅん浪漫ｳｫｰｸの歩行ルートで整備の必要な箇所を選定し、整備を行った。特に問題点はない。	あまくま歩っちゅん浪漫ｳｫｰｸの歩行ルートで整備の必要な箇所を選定し、整備を行った。道路の安全性・快適性の確保を図ることができ、目標は十分達成できた。

今後の取り組み方針

必要箇所の整備をすべて完了することができたため、平成24年度で事業を終了する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,654	3,654	2,923	731	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先選定は、指名競争入札によるもので妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－④	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゅん浪漫ｳｫｰｸ」		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章2－(1)－イ「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	教育部　社会体育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

スポーツツーリズムの推進やさらなる観光客誘致をめざし、さらには県民のスポーツ推進に資するために「てだこウォーク」を実施する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	10,000				
	(b)予算現額	10,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)前年度繰越額	－				
	A. 計(b+d)	10,000	0			
B. 執行済額		7,562				
うち交付金充当額		6,050				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		75.6%				

予算の状況の説明

当初計画していた事業内容はすべて実施した。不用額が2,438千円発生しているが、当初計画の中の参加賞等経費を自主財源費用で賄えた事によるものである。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
てだこｳｫｰｸ2日間開催	目　標	（　２日間開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	２日間開催			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

スポーツアイランド沖縄をめざし、「てだこｳｫｰｸ2013」を浦添市民体育館を主会場に（平成25年２月２日（土）～３日（日）に開催し、滞りなく運営できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
てだこｳｫｰｸ参加者	目　標	（　7,452人　）	（　7,500人　）	（　）	（　）	（　10,000人　）
	実　績		6,783人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

てだこｳｫｰｸ2013を開催し6,783名の参加者がウォーキングを楽しんだ。当初見込んでいたより参加者数が下回ったため、目標値に届かなかった。

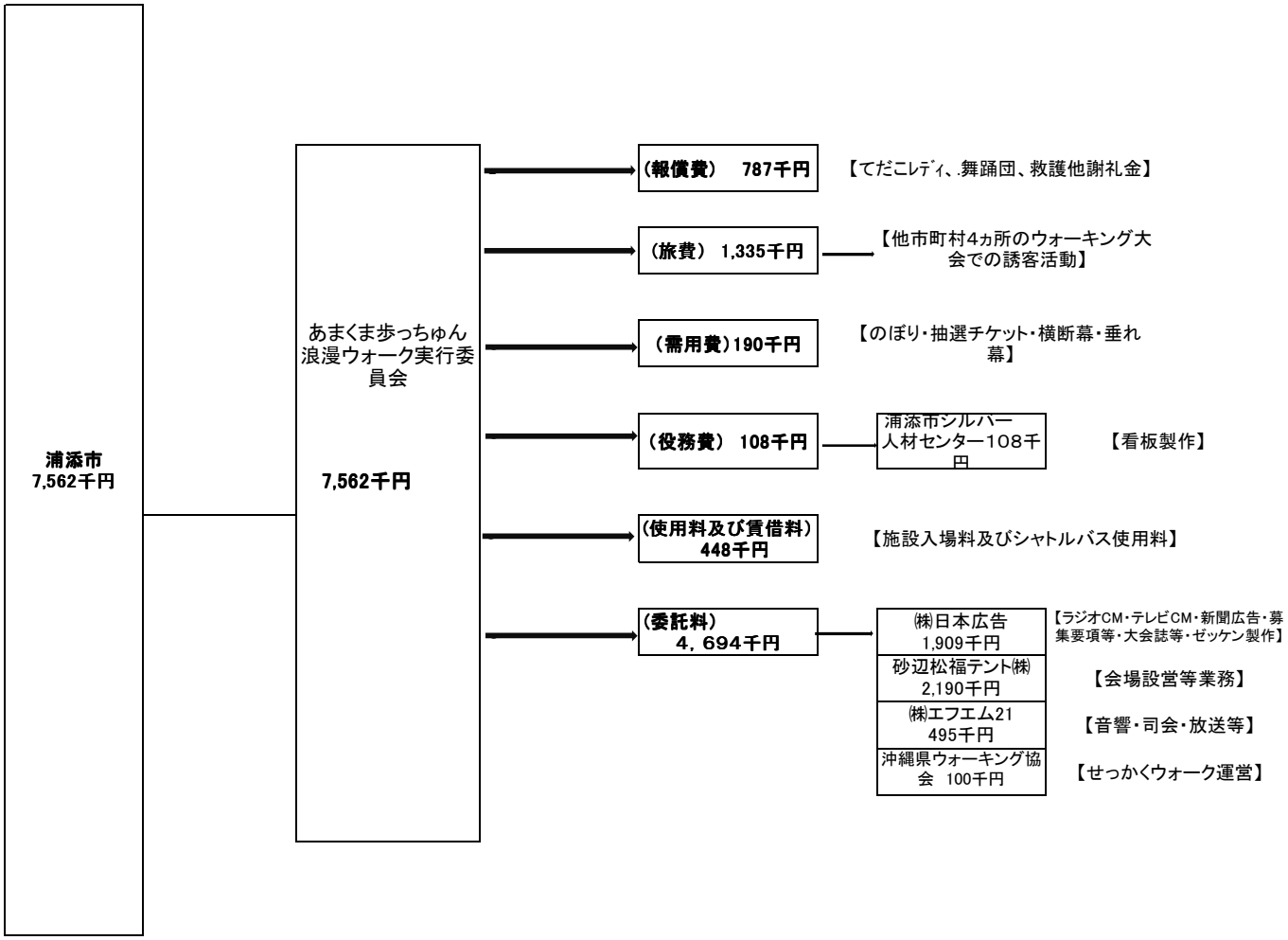
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・てだこｳｫｰｸ参加者数は事前の予想がむずかしく、その時期の世相や天候等が複雑に反映され、又広報活動の手法も影響する。 ・事業運営も参加者ニーズをどう把握し取り入れるか、運営側に蓄積されたノウハウが必要である。	・広報活動の手法を検討する。

今後の取り組み方針

・平成25年度は観光客誘致のためのツアー計画等を検討し、広報広告を積極的に展開したい。さらに、魅力的なウォーキングコースの発掘、又他部署（商工・観光関係）との協働体制を確立し、ウォーキングを通し地域の交流や活力を醸成しまちづくりにも役立てたい。将来的にはｽﾎﾟｰﾂﾂｰﾘｽﾞﾑ推進を図りワールドワイドな大会をめざしたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,562	7,562	6,050	1,512	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は入札及び見積もり合わせで浦添市契約規則に基づき施行しており妥当な選定であると考える。 ○費目・使途については支出時の書類確認、決裁を経ており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑤	ありんくりんクリーン事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	文化部　文化課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	浦添市の文化財を観光資源として活用するため、浦添城跡のほか、玉城朝薫の墓や浦添御殿の墓等の清掃、除草を行う。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,133				
	(b) 予算現額	3,133				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,133	0			
B. 執行済額		2,907				
うち交付金充当額		2,326				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		92.8%				

予算の状況の説明

文化財除草等作業は、各文化財において除草作業等の実施ごとに必要箇所・面積・作業内容等が異なる場合が多いため、作業量に増減が発生する。このため、226千円の不用額が生じることとなったが、浦添城跡ほか市内文化財の清掃、除草等作業は、必要に応じ適切に実施しており、本事業の目的は達成し適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
文化財の美化活動の実施	目　標	（　9箇所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	11箇所 （1減3増）			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

史跡浦添城跡の清掃及び市内文化財の除草作業等を実施し、来訪者が快適かつ安全に見学できるように環境整備を行った。
対象文化財として9箇所を目標設定していたが、そのうちの1箇所（おもろの碑）は、除草等の必要な状況は発生しなかったため1減となった。その一方、台風による倒木等の撤去作業が発生した3箇所の文化財（仲間樋川・仲間火ヌ神・宮城の御願山のウスク）が追加となった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
文化財の美化活動の実施	目　標	（　－　）	（　9箇所　）	（　）	（　）	（　11箇所　）
	実　績		11箇所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

史跡浦添城跡の清掃及び市内文化財の除草作業等を実施し、来訪者が快適かつ安全に見学できるように環境整備を行った。
対象文化財として9箇所を目標設定していたが、そのうちの1箇所（おもろの碑）は、除草等の必要な状況は発生しなかったため1減となった。その一方、台風による倒木等の撤去作業が発生した3箇所の文化財（仲間樋川・仲間火ヌ神・宮城の御願山のウスク）が追加となった。

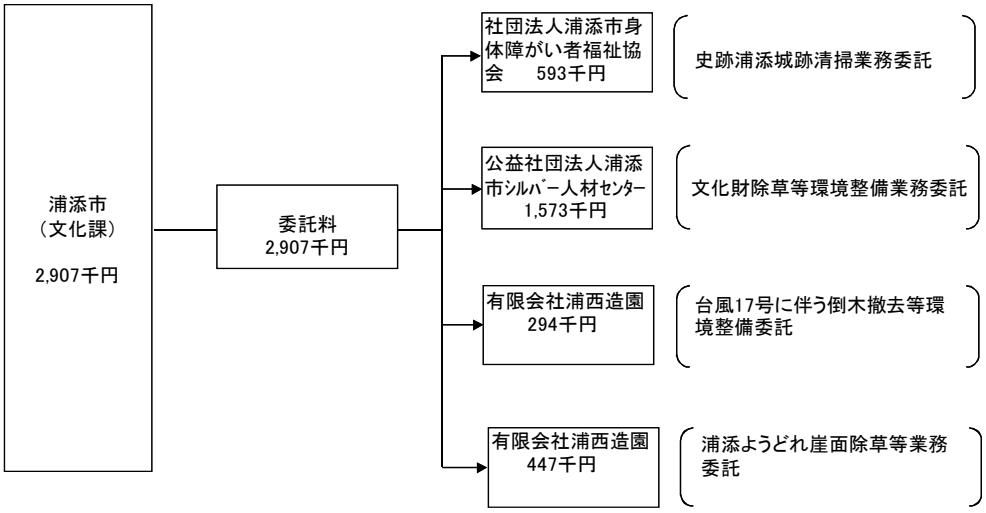
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・浦添大公園1号園路の供用に伴い、浦添城跡への来訪者の増加が予測されることから、安全対策についてもこれまで以上に気を配る必要があるため、「史跡浦添城跡清掃業務委託」の業務内容の見直しが必要である。	・史跡浦添城跡の清掃業務中において、危険な状況が発見され、緊急な安全対策作業が必要となった場合、迅速な対応が可能な委託先を検討する。

今後の取り組み方針

・平成25年度は、「史跡浦添城跡清掃業務」の業務内容を見直したうえで、「文化財除草等環境整備業務委託」と合わせて委託発注を一本化し、業務の効率化、迅速化を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,907	2,907	2,326	581	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	「地方自治法施行令」及び「浦添市契約規則」等の法令規則に基づいて執行しており、予算規模、執行内容についても事業目的に即した適切な執行であった考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－①	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－ア 沖縄らしい風景づくり推進事業
担当部課名	都市建設部　景観まちづくり室	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を高める礎とするため、世界遺産の追加登録を目指す「浦添グスク周辺エリア」と基地跡地利用に於いても先導的役割を担う地区を含む「西海岸周辺エリア」において景観法・都市計画法に基づく「景観地区」や「地区計画」等の地区指定を図りつつエリア内の地域資源の復元整備計画や美装化事業計画の策定などを行う事により「住んで良し、訪れて良し」の浦添市の観光振興を含めた地域振興を目指す。また、「沖縄らしい風景づくり推進事業」における各事業の位置付けや関連性の整理と成果目標をまとめる為に「景観向上行動計画」を策定する。

実施方法　■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	14,958				
	(b) 予算現額	14,958				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	14,958	0			
B. 執行済額		13,708				
うち交付金充当額		10,966				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		91.6%				

予算の状況の説明：不要額は入札残によるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した。
成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・都市モノ沿線地区の風景づくり	目　標	（将来像の検討）	（　）	（　）	（　）
	実　績	将来像の検討			
・ｶｰﾐｰｼﾞ・港川城間地区の風景づくり	目　標	（基本方針の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基本方針の策定			
・都市機能用地地区の風景づくり	目　標	（景観形成基準の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	景観形成基準の策定	（　）	（　）	（　）
・景観向上行動計画の策定	目　標	（方向性を検討）			
	実　績	方向性を検討			

達成状況説明
・都市モノ沿線地区における「まちづくりの将来像と方針」の検討を行った。
・ｶｰﾐｰｼﾞｰ・港川周辺地区において、景観まちづくりの基本方針を策定した。
・都市機能用地地区において地区計画を指定した。
・景観向上行動計画における「まちづくりの方向性」を検討した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・都市モノ沿線地区の風景づくり	目　標	（　－　）	（将来像の検討）	（　）	（　）	（　）
	実　績		将来像の検討			
・ｶｰﾐｰｼﾞ・港川城間地区の風景づくり	目　標	（　－　）	（基本方針の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基本方針の策定			
・都市機能用地地区の風景づくり	目　標	（　－　）	（景観形成基準の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		景観形成基準の策定			
・景観向上行動計画の策定	目　標	（　－　）	（方向性を検討）	（　）	（　）	（　）
	実　績		方向性を検討			

進捗状況説明
・都市モノ沿線地区における「まちづくりの将来像と方針」の検討を行った。
・ｶｰﾐｰｼﾞｰ・港川周辺地区において、景観まちづくりの基本方針を策定した。
・都市機能用地地区において地区計画を指定した。
・景観向上行動計画における「まちづくりの方向性」を策定した。

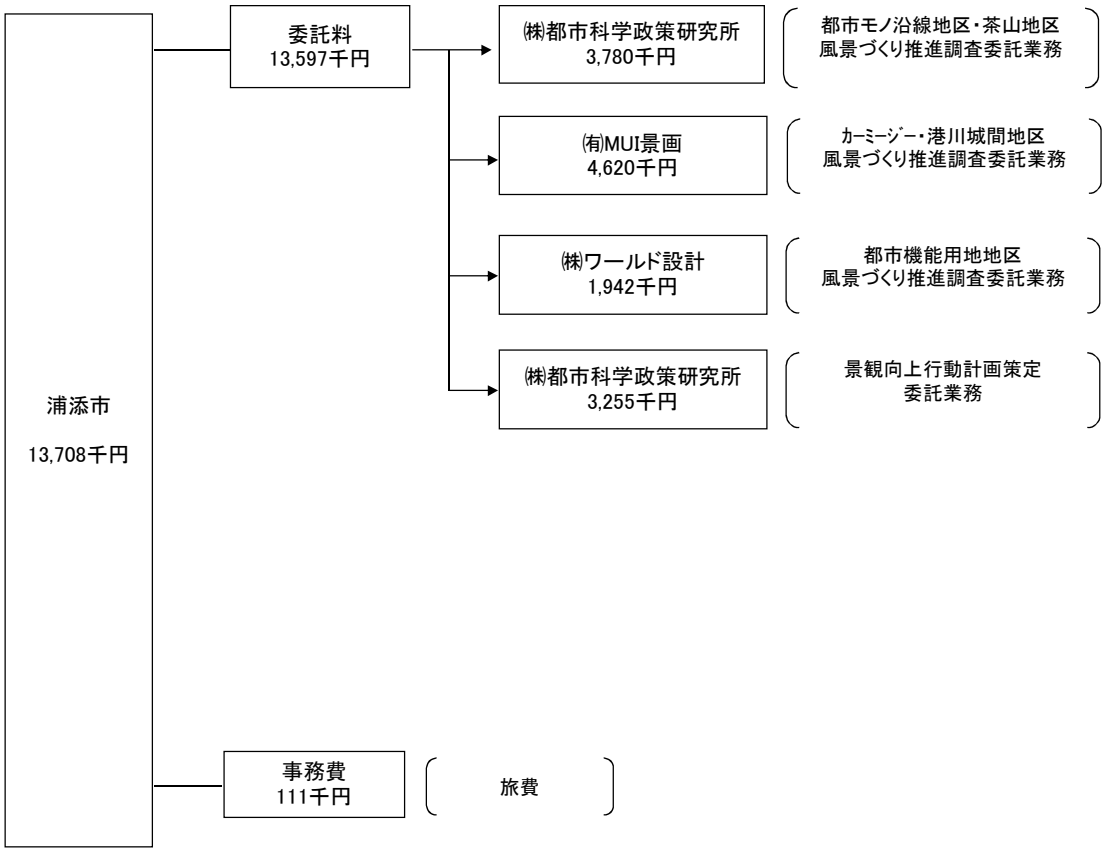
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・まちづくりの将来像と方針を定め、市民、企業、行政の協働による沖縄らしい風景づくりの形成を推進するにしても、財政的な制約があるため長期的な協働体制が必要になり、それは外部環境（市民ニーズ）の変化をもたらすものでもある。 ・地域住民との協働により景観形成の基準を設け、沖縄らしい風景づくりやまちづくりを行うためには、さらに協働作業が必要であり、十分な時間をかけた取り組みが必要となる。 ・「住んで良し、訪れて良し」の浦添市の観光振興を含めた地域振興を目指すには、モデルとなる現在取り組んでいる二地区のみではなく市全域を意識した風景づくりが必要となっている。	・交付金を活用し民間への助成制度を活用し、地域全体の公益性のある景観の形成を図る。 ・交付金を活用し基盤整備を重点的に行うことにより、地域住民の理解がさらに得られやすくなる。住民は地元に愛着と誇りを持ち、協働によるより良いまちづくりが進められる。 ・沖縄らしい風景が効率良く形成され、観光振興にもつながる。 ・今後は市全域を視野にいれた風景づくりを中心としたまちづくりを検討していかなければならない。

今後の取り組み方針

・この交付金をさらに活用して住民、企業、行政の協働作業による風景まちづくりを推進していく。
・今後の取組としては、市全域を視野にいれた風景づくりを検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,708	13,708	10,966	2,742	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は競争入札により決定した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－②	浦添グスク周辺緑化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章－1－(6)－ア 価値創造まちづくり
担当部課名	美らまち推進課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

沖縄らしい景観を形成するため、市民と協同で茶山地区の緑地保全や浦添グスク周辺の風景づくりを行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	13,692				
	(b) 予算現額	13,692				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	13,692	0			
B. 執行済額		13,692				
うち交付金充当額		10,945				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画どおり予算執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
茶山緑地整備面積　107㎡	目　標	（　107㎡　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	107㎡			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：浦添グスク周辺の風景づくりを行うため、緑地整備を行った。
目標とおりの整備が達成できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（25年度）
茶山緑地整備面積　107㎡	目　標	（　－　）	（　107㎡　）	（　）	（　）	（　600㎡　）
	実　績		107㎡			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：今年度は目標とおりの107㎡の整備ができた。
次年度も494㎡の整備が残っており、地域住民と連携しながら進めたい。

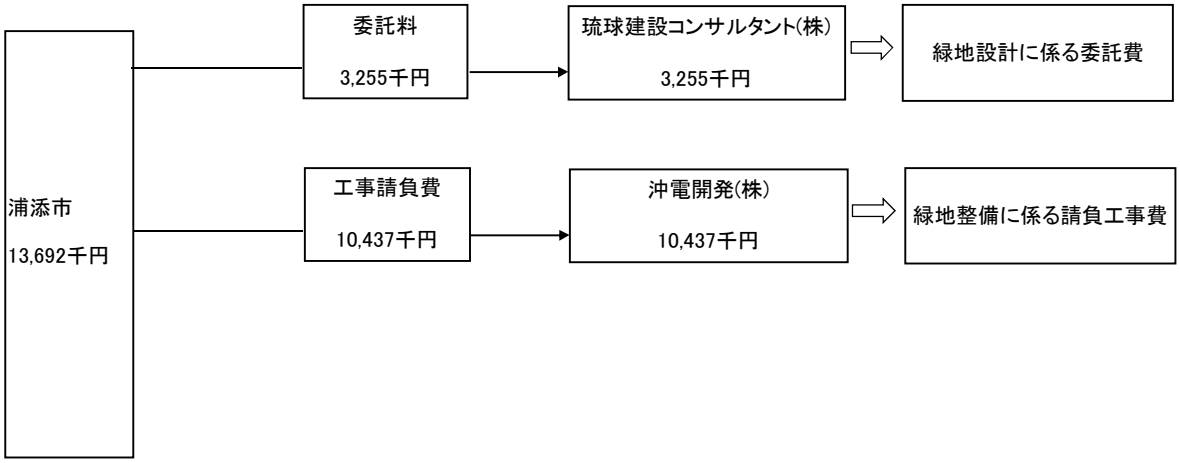
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今年度は目標とおりの107㎡の整備ができた。 次年度も494㎡の整備が残っており、地域住民と連携しながら進めたい。	工区を2つに分けたため樹木の植栽ができなかった。次年度は植栽も含め完成させたい。

今後の取り組み方針

地域住民と連携しながら、次年度は植栽も含め完成させたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,692	13,682	10,945	2,737	10



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者及び請負業者は指名入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－③	地域資源復元推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－ア 価値創造のまちづくり
担当部課名	文化部　文化課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	・歴史的景観の再生を図るため、地域に古くから存在する「樋川」を復元整備する。平成24年度は発掘調査を実施する。 ・沖縄らしい風景づくりと観光振興のため、近年劣化が著しい市指定文化財「クバサーヌ御嶽」を復元整備する。平成24年度は復元整備に必要な用地購入を行う。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	72,118				
	(b) 予算現額	4,876				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 67,242				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,876	0			
B. 執行済額		4,876				
うち交付金充当額		3,848				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初は隣接地と一体化したクバサーヌ御嶽の整備を計画し、御嶽周辺の土地を購入する予定であったが、不調に終わった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
安波茶樋川復元整備	目　標	（　発掘調査1件　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	発掘調査1件			
クバサーヌ御嶽復元整備	目　標	（　用地購入2件　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	用地購入0件			

達成状況説明	安波茶樋川復元整備は復元整備に向けた発掘調査を行った。 クバサーヌ御嶽は隣接地と一体化した整備を計画し、御嶽周辺の土地を購入する予定であったが、不調に終わった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
安波茶樋川発掘調査件数	目　標	（　－　）	（　1件　）	（　　）	（　　）	（　文化財復元整備3件　）
	実　績		1件			
クバサーヌ御嶽復元整備	目　標	（　－　）	（　2件　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		0件			

進捗状況説明	安波茶樋川復元整備は復元整備に向けた発掘調査を行った。 クバサーヌ御嶽は隣接地と一体化した整備を計画し、御嶽周辺の土地を購入する予定であったが、不調に終わった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	安波茶樋川：平成24年度に実施した発掘調査によって、これまで土に埋もれていた石積等が明らかとなったが、当該地は谷状地形の最低面に位置するため、文化財的景観に配慮した法面保護が課題となる。 クバサーヌ御嶽：隣接地と一体化した整備を計画し、御嶽周辺の土地を購入する予定であったが、不調に終わった。	安波茶樋川：他の文化財での法面保護事例を参考に、法面保護と景観保護の両立を図る。 クバサーヌ御嶽：御嶽が所在する土地に限定して整備を行う。

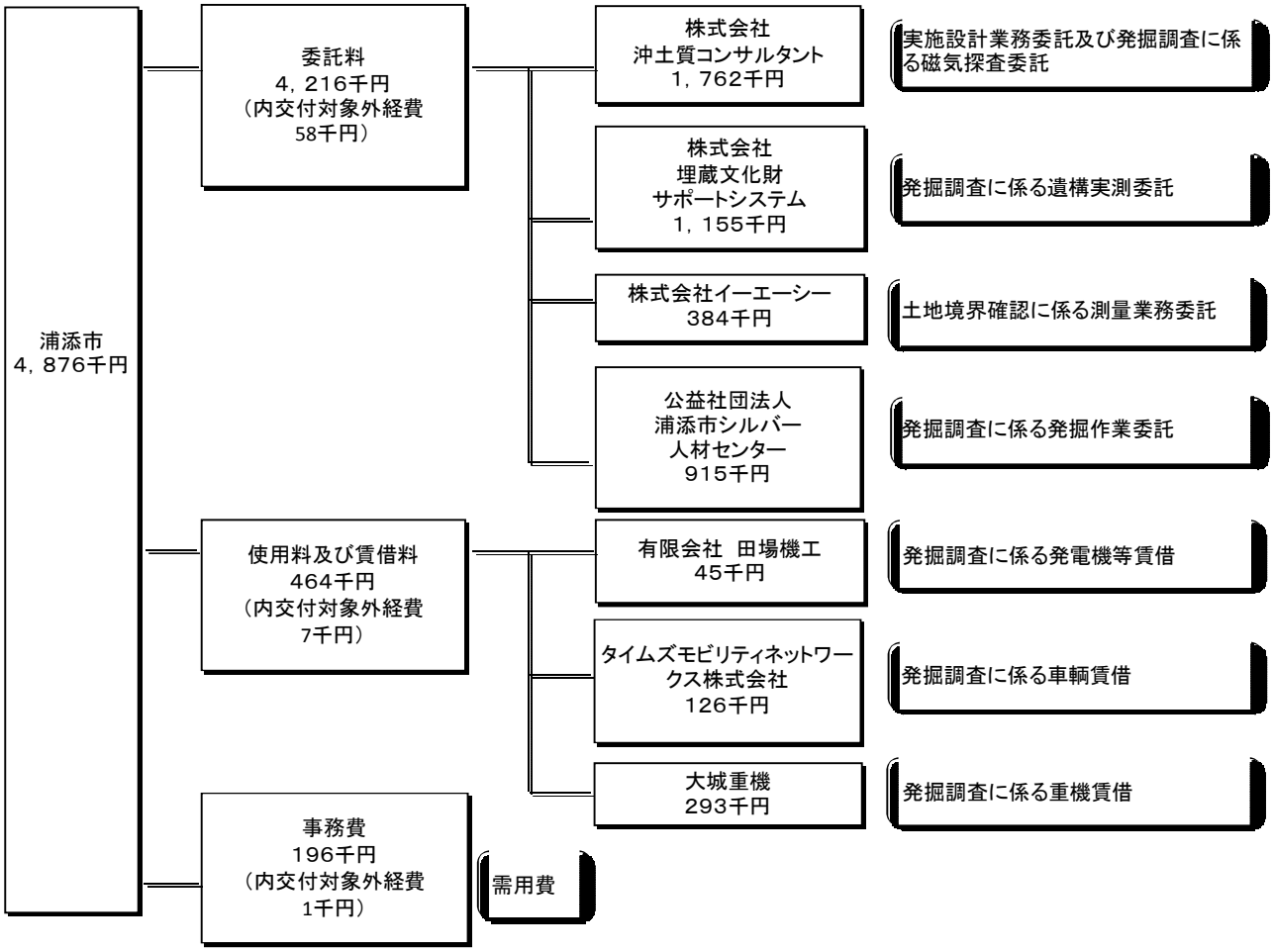
今後の取り組み方針

安波茶樋川：平成25年度実施予定の実施設計業務委託のなかで、他の文化財での法面保護事例を参考に専門業者と調整のうえ工法を決定する。

クバサーヌ御嶽：御嶽が所在する土地に限定して整備を行う。平成25年度は整備に向けた発掘調査を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,876	4,810	3,848	962	66



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	地方自治法施行令及び浦添市契約規則に則り執行しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２-④	前田トンネル周辺修景事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－ア 沖縄らしい風景づくり
担当部課名	都市建設部・区画整理課	事業実施（予定）年度	平成２４年～平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	前田トンネルの両側にそびえるコンクリート壁を中心に壁面緑化やレリーフ等を用い、植栽を含めた一体的な修景設計を行い浦添市独自の魅力ある風景を創出する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,000				
	(b) 予算現額	5,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,000				
B. 執行済額		5,000				
うち交付金充当額		4,000				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・平成24年度は、委託費として全額執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
実施計画の策定	目　標	（　実施計画策定　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	実施計画策定			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：前田トンネルの両側に存する擁壁を緑化するために、かなり多くの植生を抜き出し検討をした。レリーフはポイント的に施工するように計画を立てている。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　33年度）
実施計画の策定	目　標	（　－　）	（　実施計画策定　）	（　　）	（　　）	（　緑化面積 650㎡　）
	実　績		実施計画策定			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：前田トンネル周辺を主に緑化やポケットパーク的整備を含めて整備を進める計画を立てた。その設計に基づき7月～8月の工事着工を目指して準備を進める。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	緑化を実施するに当たり、維持管理の少ない方法をいかに取れるか、緑化のスピードををいかに早めるかが問題になってくる。 モノレール事業と同時並行で事業を進めるため、周辺修景と同じように調和を図っていく必要がある。	緑化にかなりの年数がかかることも念頭に入れ、維持管理を徹底することが求められる。

今後の取り組み方針

前田トンネル周辺を主に緑化やポケットパーク的整備を含めて整備を進める計画を立てた。トンネル上部に位置する玉城朝薫の墓との調和も考えながら、平成25年度の緑化工事を進めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,000	5,000	4,000	1,000	0

浦添市 5,000千円 → 委託料 5,000千円 → ㈱アジア技研 5,000千円 （前田トンネル周辺修景設計業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争乳により委託を実施した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑤	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－ア 価値創造のまちづくり
担当部課名	都市建設部　道路課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容

浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出するため、浦添グスクの麓に位置し、歴史・文化の拠点である仲間地区の主要な市道について、コーラル舗装をイメージした「カラーアスファルト舗装」を施す。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（ ）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況 (a) 当初予算額	35,000				
予算の状況 (b) 予算現額	35,000				
予算の状況 (c) 増減額 (b-a)	0				
予算の状況 (d) 前年度繰越額	－				
予算の状況 A. 計 (b+d)	35,000	0			
B. 執行済額	35,000				
うち交付金充当額	28,000				
次年度繰越額	0				
執行率（%）(B/A)	100.0%				

予算の状況の説明：平成24年度は、工事費としてすべて執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装: 2,660 ㎡	目　標	（ 2,660㎡ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実　績	2,660㎡			
	目　標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実　績				

達成状況説明：目標とおりカラーアスファルト舗装を施工した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（ 年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（25年度）
仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装: 2,660㎡	目　標	（ － ）	（ 2,660㎡ ）	（ ）	（ ）	5,060㎡ ）
	実　績		2,660㎡			
【参考指標】	目　標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実　績					

進捗状況説明：目標とおりカラーアスファルト舗装を施工した。

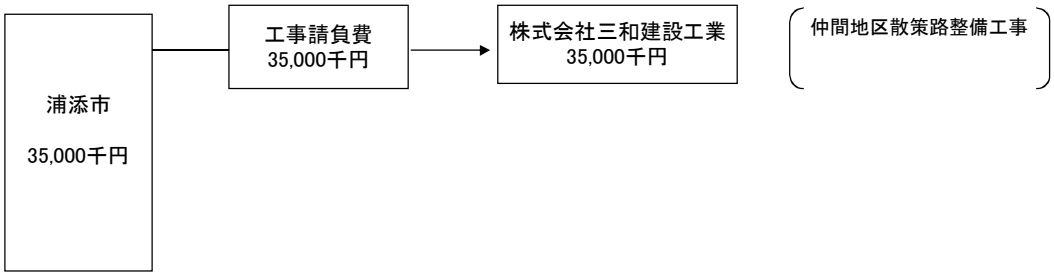
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	歴史・文化の拠点である仲間地区の主要な道路について、コーラル舗装をイメージした「カラーアスファルト舗装」を施すためには、整備スケジュール、整備箇所等を地域自治会と調整しながら、浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出し拡充を図ることが必要である。	地域自治会の協力を得ながら、城下町にふさわしい道路景観を拡充しながら守っていく。

今後の取り組み方針

地域住民（自治会・地権者）への良好な景観形成に対する意識の高揚を計っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
35,000	35,000	28,000	7,000	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札により執行しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑥	風景街なみ形成に資する建築技術提案事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－ア 沖縄らしい風景づくり推進事業
担当部課名	都市建設部　景観まちづくり室	事業実施（予定）年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容	世界遺産追加登録を目指す浦添グスク周辺地区の都市モノレール沿線地区を対象に、沖縄らしい風景やまちなみづくりに資するため、民間事業者に委託し、街なみを形成する建築素材や技術の提案を受ける。（提案は2①ウラオソイ風景づくり推進事業に反映させる予定。）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,000				
	(b) 予算現額	8,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	8,000	0			
B. 執行済額		7,560				
うち交付金充当額		6,048				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		94.5%				
予算の状況の説明		不要額は入札残によるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した。 成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
建築素材や技術提案策定	目　標	（ 基本方針の策定 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基本方針の策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	①現状と先進事例の把握、②風景街なみ形成の方針、③屋根の形状などの建物の形態、沿道空間の演出に関する模型作製までを成果とした。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
建築素材や技術提案策定	目　標	（　－　）	（ 基本方針の策定 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基本方針の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	①現状と先進事例の把握、②風景街なみ形成の方針、③屋根の形状などの建物の形態、沿道空間の演出に関する模型作製までを成果とした。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・沖縄らしい街なみを形成するためには、工作物（建築物のみならず塀や門などあらゆる構造物）への技術的な提案が重要で、そのための取り組みとして進めている事業であるが、それを受け入れる側の地域住民の理解がさらに必要不可欠となるものである。また、沖縄らしさを向上させていくためには、各部位の素材まで追求することが必要となることから、住民や実際に設計に携わる建築家との協働した取り組みが今後さらに重要となる。	・住民や設計に関わる建築家との協働の取組の仕組みとして、都市モノレール沿線地区景観まちづくり協議会を立ち上げて、地域住民や専門家の意見を取り入れながら作業を推進する。

今後の取り組み方針

・この交付金をさらに活用して住民、企業、行政の協働作業による風景まちづくりを推進していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,560	7,560	6,048	1,512	0

浦添市 7,560千円 → 委託料 7,560千円 → ㈲めかる設計 7,560千円 （沖縄らしい風景街なみ形成のための建築技術提案委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は競争入札により決定した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－①	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章　3－(2)－ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部課名	文化部美術館	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	琉球漆器の歴史や文化、アジアの美を紹介し観光振興に資するため、浦添市美術館で琉球漆器に関連した企画展の開催及び常設展の充実を図る。また、体験教室の実施や、漆器使用体験などの委託事業を行い、それに伴って産業振興にも結びつける。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況 (a) 当初予算額	31,559				
予算の状況 (b) 予算現額	28,659				
予算の状況 (c) 増減額 (b-a)	▲ 2,900				
予算の状況 (d) 前年度繰越額	－				
予算の状況 A. 計 (b+d)	28,659	0			
B. 執行済額	26,355				
うち交付金充当額	21,083				
次年度繰越額	0				
執行率（%）(B/A)	92.0%				

予算の状況の説明：・不要額が2,304千円発生しているが、委託料（展示台製作・印刷他）の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
琉球漆器関連企画展の開催	目　標	（　企画展開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	企画展開催			
常設展の充実	目　標	（　2,000人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2,139人			

達成状況説明：・琉球漆器関連企画展（堆錦展）を開催した。・常設展の充実を図った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
美術館来館者数	目　標	（　94,352人　）	（　50,000人　）	（　）	（　）	（　累計 500,000人　）
	実　績		58,668人			
常設展観覧者数	目　標	（　1,940人　）	（　2,000人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2,139人			

進捗状況説明：美術館広告委託の実施などにより、美術館来館者数は目標を8,668名上回った。また、常設展観覧者数も目標を139名上回った。（23年度美術館来館者数は「光のアート展」「ジュディ・オング木版画展」等による来館者数がかなり多かったため、それを勘案し24年度は5万人に目標値を設定した）

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・美術館来館者数について、今年度の目標を達成した。 ・堆錦体験教室や、喫茶室での漆器使用体験では、想定していた県外観光客よりも地元の参加者が多かった。 ・予算が使用できるようになった時期が遅く、事業への取組みが遅れた（特に広報事業）。	・企画展についや県外観光客向けに広報を行う上で、効果的な場所や媒体などの再検討が必要。 ・予算執行可能時期を見越し、準備をしておく必要がある。

今後の取り組み方針

・広報に関しては、当館の展示内容・事業に関心を持つ観客層と、その目に留まるような媒体を分析。それに重点を置いて広報を行う。一方で、漆や工芸に関心の無い層に向けても興味を引くような催物や展示作品などを充実させ、基本的な知名度を上げる。
・年間の事業計画とともに、28年度までの長期的な計画を立てて事業を進行する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,355	26,355	21,083	5,272	0

- 浦添市 26,355千円
  - 事務費 1,373千円（報償費・消耗品費・旅費）
  - 賃借料 4千円
    - 浦添市てだこホール 4千円（講演会会場使用料）
  - 委託料 17,831千円
    - 琉球物流株式会社 3,325千円（展覧会作品運搬展示委託）
    - 目白漆芸文化財研究所 1,509千円（作品修復委託）
    - 琉球漆工藝舎 970千円（作品修復委託）
    - フォートプラザ 201千円（作品撮影委託）
    - ㈱近代美術 2,228千円（展覧会印刷物製作委託）
    - ㈱尚生堂 179千円（催事広報印刷物製作委託）
    - ㈱宣伝 5,242千円（広報宣伝業務委託）
    - ㈱琉球広報 217千円（展覧会看板製作委託）
    - ㈱尚生堂 32千円（常設展看板製作委託）
    - ㈱近代美術 16千円（展示用写真パネル製作委託）
    - 石丸工芸㈱ 1,521千円（展示台製作委託）
    - NPO浦添市美術館友の会 225千円（監視業務委託料）
    - NPO浦添市美術館友の会 968千円（漆器使用体験事業委託料）
    - 琉球漆器事業協同組合 441千円（体験教室事業委託料）
    - ㈱沖縄コングレ 556千円（音声ガイド録音委託）
    - 石川堂 201千円（作品額装委託）
  - 備品購入費 7,147千円
    - ㈱オキジム 220千円（講演会用パソコン購入）
    - 観宝堂 4,342千円（作品購入）
    - 漆器作品蒐集家 2,585千円（作品購入）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は、入札やプロポーザル方式により委託先を選定しており、妥当であると考える。 ・堆錦体験教室などは、受益者にも器物代などを負担してもらい、アンケートでも金額に関し現状で良いという回答が多数をしめた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３-②	9月3日踊り観光・文化振興事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部課名	市民部商工産業課		事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（1）

事業内容	観光振興及び文化振興を図るため、国立劇場おきなわを拠点に世界文化遺産である「組踊」の鑑賞機会を設けるとともに関連イベントを開催した。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	29,568				
	(b) 予算現額	29,568				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	29,568	0			
B. 執行済額		19,189				
うち交付金充当額		15,351				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		64.9%				
予算の状況の説明		台風襲来の影響により「組踊まつり」及び「組踊ムラアシビー」の順延並び一部中止に伴い、特設ステージの構築費用が不要となり、多額の不用額が生じた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
組踊り鑑賞イベント実施回数：5回	目　標	（　5回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	5回			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	今回の事業においては野外ステージ型鑑賞事業（「組踊まつり」、「組踊ムラアシビー」、「組踊青年者等鑑賞事業」）、劇場型鑑賞事業（「KUMIODORI事業」、「若年者向け組踊公演」、「プロ野球ファン組踊鑑賞事業」）を実施予定していたが、台風の影響により「組踊まつり」が、順延及び規模縮小に、「組踊ムラアシビー」事業が中止となった。また、「KUMIODORI事業」においては、集客がなかなか図れず、「若者向け組踊り公演」と一体として実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
組踊り鑑賞イベント参加人数：2,000人	目　標	（　－　）	（2,000人）	（　）	（　）	（4,000人）
	実　績		2,200人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	「組踊まつり」・・・200人、「組踊青年者等鑑賞事業」・・・1000人、「KUMIODORI事業」及び「若年者向け組踊公演」・・・510人、「プロ野球ファン組踊鑑賞事業」・・・310人、合計2,200人のイベント参加人数となった。

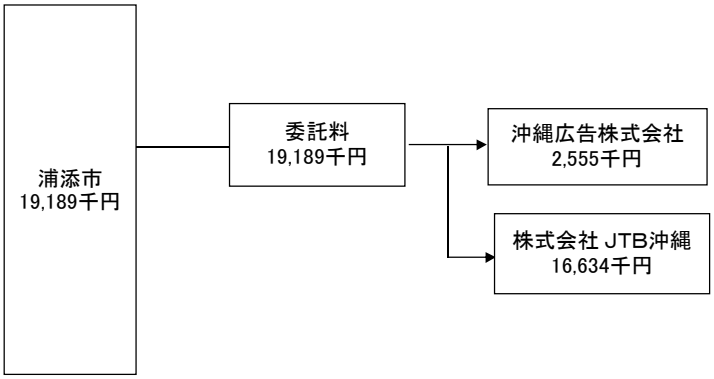
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①多くの県民が今回のイベントを通して初めて「組踊り」を鑑賞しており、鑑賞のきっかけ（タイミング）が恵まれていなかった。 ②観光客においては「組踊り」の認知が低い ③海外の観光客においては参加者が非常に少なかった。 ④台風による順延・一部中止があった。⑤演者の確保が困難であった。	地元沖縄県民の鑑賞機会を増加させることと併せて、観光客への周知を図る必要がある。

今後の取り組み方針

地元ラジオ局、新聞及びホテルへのチラシ配布に加え、25年度はTVコマーシャル、観光雑誌等への広告掲載等を検討していきたい。また、組踊り事業のみならず他の事業（イベント）とのコラボを検討していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,189	19,189	15,351	3,838	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－③	浦添スポーツの発信拠点運動公園内体育施設の機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	教育部　社会体育課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	スポーツツーリズムの推進やさらなる観光誘致を図り、県民のスポーツ推進に資するため体育施設の機能強化を実施する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	373,368				
	(b) 予算現額	347,650				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 25,718				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	347,650	0			
	B. 執行済額	346,817				
	うち交付金充当額	277,454				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.8%				
予算の状況の説明		当初予算額と予算現額の差が25,718千円発生しているが、委託料及び工事請負費の入札等の契約残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
○市陸上競技場機能強化（ﾄﾗｯｸ改修・競技用備品購入） ○市民球場ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ機能強化（観覧席取替・防水工事） ○市民球場ｽｺｱｰﾎﾞｰﾄﾞ機能強化（電光ｼｽﾃﾑ・電気） ○市民体育館機能強化（観覧席取替・ｱﾘｰﾅ床面研磨） ○市民体育館設備機能（ﾎﾞｲﾗｰ取替） ○市温水プール機能強化（天井材工事等）	目　標	（　10機能強化　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	10機能強化			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明	浦添市契約規則に基づき業者と請負契約を行い10の機能強化事業を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（26年度）
○市陸上競技場機能強化（ﾄﾗｯｸ改修・競技用備品購入） ○市民球場ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ機能強化（観覧席取替・防水工事） ○市民球場ｽｺｱｰﾎﾞｰﾄﾞ機能強化（電光ｼｽﾃﾑ・電気） ○市民体育館機能強化（観覧席取替・ｱﾘｰﾅ床面研磨） ○市民体育館設備機能（ﾎﾞｲﾗｰ取替） ○市温水プール機能強化（天井材工事等）	目　標	（　－　）	（10機能強化）	（　　）	（　　）	（施設利用者 1,000,000人）
	実　績		10機能強化事業実施			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明	浦添市契約規則に基づき業者と請負契約を行い10の機能強化事業を実施した。

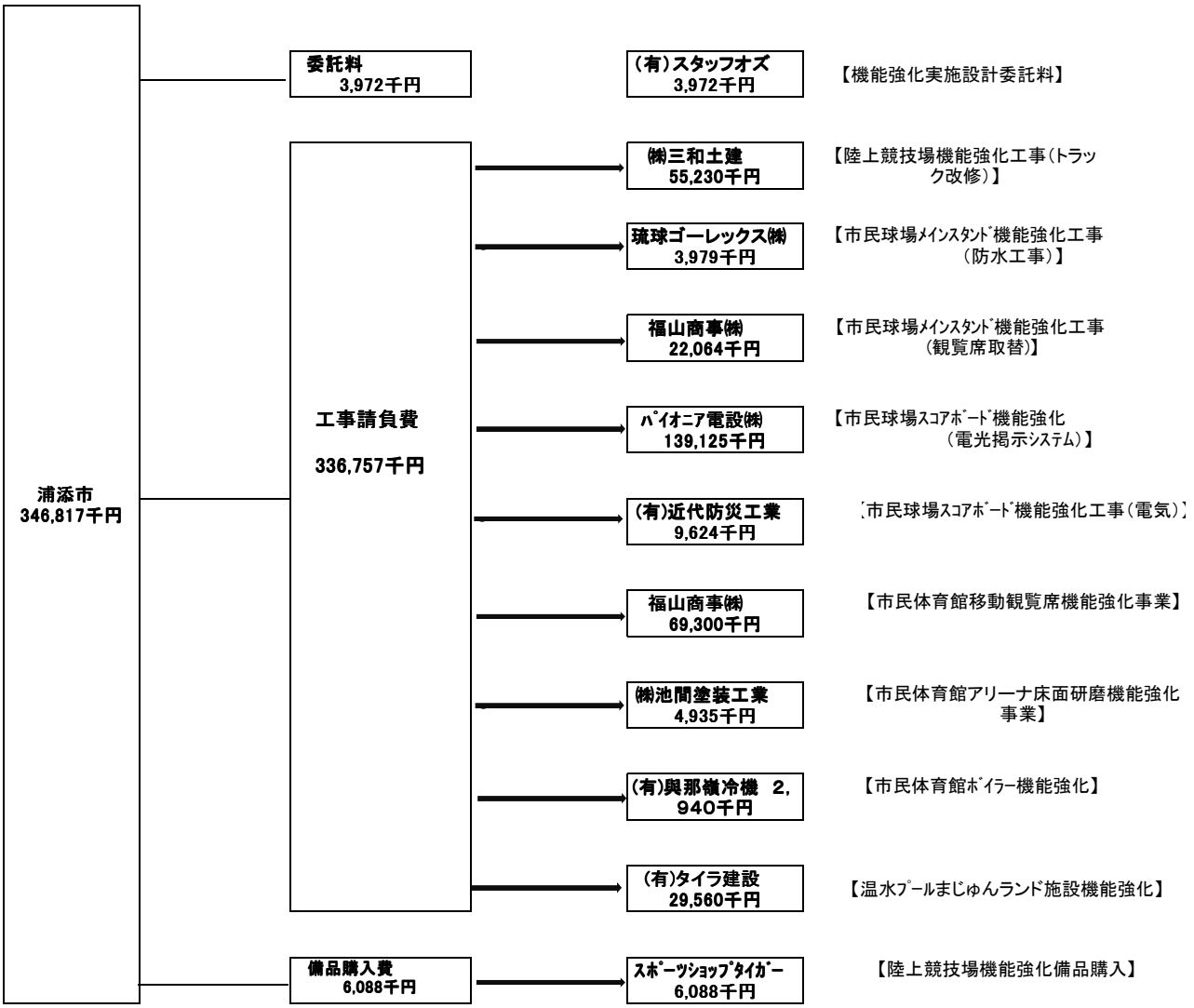
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	市体育施設の機能強化事業は10事業をおこない、プロ野球ｷｬﾝﾌﾟへの対応力が増強され、他施設でも全国大会や大規模な大会への適応度は増した。今後は、スポーツツーリズムの広報活動が課題である。	市体育施設は機能強化後に、どう長期的に維持管理していくかの検討が必要。又、観光客向けの周知も検討する。

今後の取り組み方針

機能強化事業遂行により、体育施設利用者数の増加（1,000,000人目標）をめざしたい。又スポーツツーリズムやﾊﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ王国としての広報に努め、全国的な大会の誘致や観光客誘致につなげたい。さらに　長期的な保守管理計画を立てて円滑な施設運営を図りたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
346,817	346,817	277,454	69,363	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は入札及びﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙ方式で浦添市契約規則に基づき施行しており妥当な選定であると考える。 ○費目・使途については支出時の書類確認、決裁を経ており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－①	浦添の物産と観光展事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	産業振興及び観光振興に資するため、地場産品の展示販売や観光展を開催し、県民及び観光客等へ広くPRする。24年度は展示会等へのマスコミを誘致し来場者数の増加を図る。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,000				
	(b) 予算現額	4,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,000	0			
B. 執行済額		2,940				
うち交付金充当額		2,352				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		73.5%				
予算の状況の説明		メディア・イベント製作費やイベント補助要員の費用が当初計画より低く抑えられたため100万円余の不用額が生じたが、活動目標2回の実績を達成しており、適切な予算執行であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光・物産展の開催	目　標	（　2回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2回			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	東京銀座のわしたショップで浦添の物産フェアを開催した。沖縄では浦添市内では初めてとなる県内大手スーパーで物産展を開催し、マスコミへの広報活動も実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
物産等販売の売上高	目　標	（　—　）	（ 6,000千円 ）	（　）	（　）	（ 8,000千円 ）
	実　績		3,872千円			
観光・物産展の来場者数	目　標	（　）	（ 30,000人 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績		26,093人			

進捗状況説明	東京銀座わしたショップでの浦添物産フェアの売上は106,458円であり、県内大手スーパーで開催した物産展での売上は3,766,128円であった。土日開催のイベントということもあり、実演販売・販売定員による呼び込み・商品説明により出展者からは売上はよかったと好評であったが、目標には届かなかった。店舗だけの告知だけでは、集客が図れなかったと考える。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①開催場所及び運営方法。 ②広報活動の検討。 ③観光客の集客。	①銀座わしたショップでは、販売手数料の高さや、スペースの少なさが問題となったため、販売日数の確保及びまとまった出展数が確保できる場所を検討したい。県内大手スーパーサンエー経塚シティは、観光客集客施設ではないため、今後は観光客集客効果のある施設を選定する。 ②ポスターを掲示する場所やチラシを置く場所を検討し、事前PRに効果のある広報を検討する必要がある。 ③大勢の人が出入りするスーパーでは、県内、県外観光客の棲み分けが難しく、集客成果として観光客をカウントすることができなかった。

今後の取り組み方針

県外開催の物産展では、まとまった出展数が確保できる場所（駅構内やデパートでの浦添コーナーの設置等）を検討したい。また、県内開催の物産展では、観光客集客効果のある施設の選定、出展業者のブース割付の工夫、市内業者への観光意識の啓発等も合わせて行う。広報活動については、事前広報事例の調査、SNSでの情報発信、広報期間・場所等の検討を行う。広報物に来場特典等を記載して集客し、チラシと引き換えを条件として集客数をカウントする等の仕組み作りを検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,940	2,940	2,352	588	0

浦添市

↓

委託料

2,940,468

浦添市観光協会

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	本市の観光関連事業に携わり、観光振興に資する団体である浦添市観光協会へ委託は妥当であったと考える。東京・沖縄での物産展開催に係る費用も事業目的に即したものであったと確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－②	着地型観光商品「うらおそいてだこ回廊」開発事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3－(2)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	着地型観光商品を開発するため、コンサルタントに業務委託し、調査研究やワークショップの開催等を実施する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	24,084				
	(b) 予算現額	24,084				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	24,084	0			
B. 執行済額		15,297				
うち交付金充当額		12,238				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		63.5%				

予算の状況の説明：事業対応要員の人件費やリース機器類等の契約が当初計画より遅れたため、870万円余の不用額が生じているが、事業内容はほぼ達成されており、適切な予算執行であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ワークショップの開催	目　標	（　4回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3回			
広報活動	目　標	（パンフレット等作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績	「うらそえよりみち帖」作成			

達成状況説明：浦添の魅力（観光シーズ）の再発見・発掘・集約及び着地型観光商品の企画・開発を行った。本市の地域資源を把握し、整理、観光客ニーズを踏まえた上で、観光資源としての活用の可能性を見出し、それを用いて、着地型観光商品を企画し、開発する。計3回のワークショップを行い、第1回目は地域資源の発掘、第2回目は地域資源の整理、第3回目は地域資源の活用法について検討した。また、新しい観光の魅力を観光客にアピールするためのパンフレット「うらそえよりみち帖」を制作した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（26年度）
ワークショップの参加人数	目　標	（　—　）	（　150人　）	（　）	（　）	（　3,000人　）
	実　績		42人			
観光誘客パンフレット等作成	目　標	（　）	（　3,000部　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		8,000部			

進捗状況説明：ワークショップに参加した市民は42人であった。3回のワークショップを通じて、まちあるき・交流体験・イベントの3つの着地型観光商品を開発した。また、「うらそえよりみち帖」は、計8,000部発行し、新聞やラジオにも取り上げられた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①別事業との連携。 ②各媒体との連携。	①「うらそえよりみち帖」の発行時期にあたる2月にはヤクルトスワローズ春季キャンプの時期と重なり、観光資源となる別事業との連携が必要である。 ②WEB媒体と紙媒体との連動が必要となる。

今後の取り組み方針

観光資源となる別事業の状況も踏まえつつ、着地型観光商品の開発を行う必要がある。別事業と連携し年間計画を立てた上での観光客誘客の仕掛けを企画し、事業の相乗効果を高める。情報の継続性のあるWEB媒体と、老若男女が情報を入手しやすい紙媒体との連携を図り、観光商品を発信し、プロモーションを行う。また、着地型観光商品の開発については、市内全域の観光資源の発掘に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,297	15,297	12,238	3,059	0

浦添市　15,297千円

↓

委託料

15,297千円

浦添市観光協会

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	本市の観光関連事業に携わり、観光振興に資する団体である浦添市観光協会へ委託は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－③	来て・見て・楽しい”まるごと浦添”観光情報発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

グルメ、アート、スポーツなど観光情報を一元的に発信するため、ポータルサイトを構築する。また、観光客の利便性を高めるため、モバイル・ソフトの開発等を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	30,037				
	(b) 予算現額	30,037				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	30,037	0			
B. 執行済額		30,024				
うち交付金充当額		24,019				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：計画通りの予算執行ができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光等情報ポータルサイトの構築	目　標	（　構築完了　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	構築完了			
観光コンテンツの制作及び発信	目　標	（　200件　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	295件			

達成状況説明：
・平成25年1月25日に浦添市新観光ポータルサイト「うらそえナビ」(http://www.urasoenavi.jp)を稼働し、情報発信を開始した。
・得られた成果は「観光情報の統合化によるコンテンツ全体のユーザビリティ向上が図れた」「各サイトやブログ、掲示板、RSS連携等コンテンツに適した形式で情報発信が可能となった」「SNS(Twitter や Facebook)への書き込み機能を各コンテンツに配置」などが挙げられる。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
観光等情報ポータルサイト閲覧数	目　標	（12,000件）	（10,000件）	（　　）	（　　）	（72,000件）
	実　績		44,102件			
観光コンテンツの制作数	目　標	（　　）	（200件）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		295件			

進捗状況説明：
・コンテンツ企画・制作にて創出したキャラクター「ウラソエ仮面」などによる話題おこしも功を奏し、観光等情報ポータルサイト閲覧目標値へ大幅に上回った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	観光等情報ポータルサイトの構築により、目標閲覧数は10,000としており、サイトオープンの1月25日から3月7日までに、閲覧数：44,102件となっている。 予定した観光コンテンツ制作数200件に対して、295件の掲載数となっている。 サイトの利用促進研修は、市職員および観光協会職員向けに10講座を開催しており、計72名が受講した。内容は初歩的スキルの取得としている。 初年度は既存コンテンツ（観光協会に存在するコンテンツの移行など）の統合を目的としつつも、記者会見や話題おこし、シンポジウムなどによる情報発信により、サイトへの誘導に成功がみられた。	効率の更なる向上の視点としては、今後の情報の発信者である市職員や関係団体、市内事業者にむけた利用促進研修の充実は不可欠である。 そのためには、研修内容の告知、あり方の改善を行いつつ、研修内容の充実を図り、不足するシステム機能面の充実などにも取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

今年度実施した観光等ポータルサイトの更なる情報発信の充実・強化に向けて、情報発信人材の育成に努める。
また、必要な研修の充実および不足するシステム機能面などの充実を図っていく。
さらに、観光コンテンツ創出にむけたご当地イベントの企画と実施により、市内回遊強化・誘客の促進を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,024	30,024	24,019	6,005	0

浦添市

↓

委託料

30,024千円

株式会社おきぎんエス・ピー・オー・株式会社海邦総研・株式会社近代美術　共同企業体

〔観光ポータルサイト等の開発にかかる委託業務〕

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により、観光コンテンツ作成・ポータルサイト構築に関する企画内容、観光産業及びソフトウェア開発に関しての知見等を備えていると判断した上で選定している。費目・使途について、業務目的に即しており支出額も妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－④	ヤクルトファン浦添にめんそーれ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

ヤクルト春季キャンプを活用した観光振興を推進するため、キャンプ期間中は、会場の総合運動公園を中心に観光情報を発信し、市内の飲食店や特産品販売店等への誘客を図る。
　また、シーズン中は神宮球場で開催される公式戦1試合を「浦添観光キャンペーンデー」として位置づけ、観光誘客イベントを実施し、沖縄県及び浦添市の特産品等の紹介及び販売等を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,005				
	(b) 予算現額	5,005				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,005	0			
B. 執行済額		4,880				
うち交付金充当額		3,904				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.5%				
予算の状況の説明		計画どおり執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
誘客イベント開催数	目　標	（　2回　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	2回			
プロ野球キャンプ来場者	目　標	（　6，000人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	19,960人			

達成状況説明

ヤクルトファンを浦添市への誘客事業（パンフレット配布・アンケート）として、東京神宮球場で「浦添観光キャンペーンデー」開催。また、沖縄ではヤクルトキャンプ期間中にキャンプ場内中心に市街誘客事業及び歓迎式典特別会場設置やヤクルトグッズを活用し、マスコミ関係等に広報活動を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
誘客イベント来場者数	目　標	（　－　）	（20，000人）	（　　）	（　　）	（40,000人）
	実　績		18,885人			
プロ野球キャンプ来場者数	目　標	（35,000人）	（6，000人）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		19,960人			

進捗状況説明

東京神宮球場での「浦添観光キャンペーンデー」開催時の球場入場者数は18,885人であり、アンケートの回収率は86.3%であった。また、ブースでは、エイサー演舞、魅川憲一郎さん・てだこレディによる浦添市のPR等を行った。東京ヤクルトスワローズ春季キャンプ期間中は、ヤクルトグッズを活用した広報活動、ヤクルトファンを市内に誘客するためのコンシェルジュの配置等を行った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①広報活動の検討。 ②イベント運営方法について。 ③コンシェルジュ業務。	①浦添市の観光イメージがないため、よりよいPR方法を検討し、メディアミックスで広報を打ち出して本市を印象付ける必要性がある。また、ヤクルトスワローズ広報と一体となるPRも検討したい。 ②神宮球場での「浦添観光キャンペーンデー」では、パンフレットの配布・回収・物産品の引き渡しが中心となったため、観光紹介方法やパネル展示も検討したい。 ③誘客率アップのため、誘客促進企画の充実、統一したサービスを提供するための観光案内のマニュアルの作成が必要である。

今後の取り組み方針

浦添市の観光を印象付けるため、WEBやツイッター等のインターネットを通じた広報活動、広報期間・方法・場所の検討、ヤクルトスワローズ球団側広報と一体となった広報活動に取り組みたい。イベントの運営に関しては、運営体制の構築、必要人員の確保、様々なアイディア・運営実績を持つコンサルタントへの協力依頼や、観光案内所を作り観光紹介やパネル展示を行うことを検討する。誘客率アップのため、誘客促進企画の充実を図り、観光商品としての史跡等のルートマップの作成、統一したサービスを提供するための観光案内マニュアルの作成を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,880	4,880	3,904	976	0

浦添市

↓

委託料

4,880千円

浦添市観光協会

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	本市の観光関連事業に携わり、観光振興に資する団体である浦添市観光協会へ委託は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－⑤	ここにおいでよ浦添タウン事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	市内への観光誘客を図るため、各商店街や通り会でのイベント開催、観光ルートの美化・緑化等に取り組む。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,000				
	(b) 予算現額	4,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,000	0			
B. 執行済額		2,878				
うち交付金充当額		2,302				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		72.0%				
予算の状況の説明		各通り会等でのイベントを観光客誘客につなげる事業を実施予定であったが、天候不良等により事業実施が1回となり予算額に不用がでた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
商店街イベント開催数	目　標	（　4回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1回			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：学園通りで実施した「プロ野球ぬりえ　ながさわたかひろ展　in　浦添学園通り」のみであった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
商店街イベント参加人数	目　標	（　－　）	（　600人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		125人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：プロ野球ぬりえのデジタルサイネージを閲覧した方は1400余人、イベント参加者は125人であった。

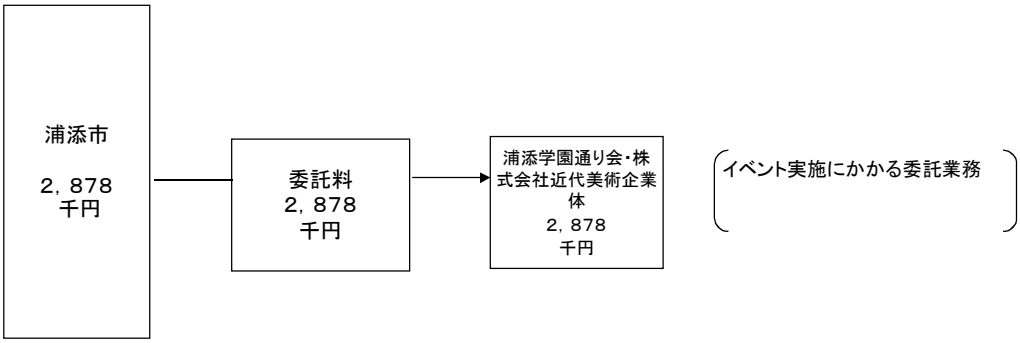
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	各通り会などは今回の交付金の活用状況を見定める傾向から、積極的な活用が見られなかった。	通り会等自らがイベントに観光客などの集客を図る仕組みを実践する必要がある。

今後の取り組み方針

経営コンサルタント等と通り会等との共同企業体による企画展案型を促進していく予定である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,878	2,878	2,302	576	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的達成の観点から必要なものなのか等、支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－⑥	浦添うまれの絹が彩る観光特産品ブランド強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

『地域の核となる独自性のあるブランドづくり』をテーマに、織物の伝統的なイメージからの脱却を図り、斬新さと古来よりの手法を融合した魅力を発信する、オンリーワンの地域ブランドを目指す。また、県内外の物産展やイベントに積極的に参加することで、知名度・認知度を高め、「うらそえ織」設立の主目的である、観光振興や雇用創出につなげる。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,069				
	(b) 予算現額	6,069				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,069	0			
B. 執行済額		2,565				
うち交付金充当額		2,051				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		42.3%				

予算の状況の説明

県外旅費については業務との日程調整がつかず実施できなかった。また、うらそえ織をはじめ、浦添の物産を展示する展示棚を製作する予定であったが実施できなかったために発生した予算残である。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
うらそえ織の広報活動	目　標	（　2回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	4回			
販売促進活動実績	目　標	（　2回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	15回			

達成状況説明

工房見学等で県外からの来客や、お土産として購入する市民の増加。市内への営業活動により、社会科見学・職場体験等の団体見学が増加。県外顧客へもダイレクトメールでお知らせを送付することで展示会や工房への集客に繋げた。外国語のパンフレット作製により中国友好都市との記念品受注、優良県産品推奨を受け伊勢丹、岩田屋での委託販売が決まる。県産業まつりJAまつり、てだこウォーク、日本商工会議所青年部全国大会等での出店。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
売上額	目　標	（　）	（17,000千円）	（　）	（　）	（34,620千円）
	実　績		15,457千円			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

24年度はうらそえ織の認知度を高めるためのイベントや展示会に多く参加した。織子だけでは対応できないので、営業担当も手伝った。この間、販売促進にかかる営業が少なくなったため目標には達しなかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	広報活動としてインターネットを活用したが、うらそえ織の認知度がまだ低いため、県外観光客の誘客には繋がりにくい。	まずはうらそえ織の存在を知ってもらうことが最優先であり、地道な宣伝活動が必要である。いろいろな機会を通じて浦添市民に認知してもらい、空港の案内カウンターやレンタカー会社、旅行会社、ホテル等にパンフレットや見本品を置く。小中高大学校に赴き、次世代にも知ってもらう。イベント等には積極的に参加し宣伝に取り組む。

今後の取り組み方針

徹底した宣伝活動を継続するとともに、手頃な価格的で購入できる商品開発に努め、うらそえ織が身近な存在として認識してもらう。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,565	2,565	2,051	514	0

浦添市
2，565
千円

→ 委託料
2，565
千円

→ うらそえ織結の会
2，565
千円

（広報活動にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－⑦	浦添特産品の県外・国外への販路拡大事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

生産地「うらそえ」をアピールし、特産品の知名度向上及び販路拡大を図るため、県外や国外で開催される見本市や物産展等へ市の特産品等を出展する。今年度は、浦添市特産の販路拡大のため、市内企業に海外展開についてのアンケート調査及びヒアリングを実施した。また、実際に中国に赴き、中国進出をしている企業へのヒアリング、政府機関訪問、文献調査等を実施した。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	12,818				
	(b) 予算現額	12,818				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	12,818	0			
B. 執行済額		9,817				
うち交付金充当額		7,853				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		76.6%				

予算の状況の説明：市の特産品を県外の展示会等にて販売助成委託の公募を行ったが、応募の事業者がなかったため、事業執行ができず不用額が生じた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
県外・海外出展事業者の支援	目　標	（30件）	（　）	（　）	（　）
	実　績	0			
【参考指標】ヒアリング及びアンケート実施	目　標	（4種類）	（　）	（　）	（　）
	実　績	4種類			

達成状況説明：
・市内企業への海外展開に関するアンケート調査及びヒアリングの実施、現地日系企業・中国系企業・泉州市外事弁公室へのヒアリング、マクロミル社を活用した中国国民へのアンケート調査、文献調査を行った。
・県外への特産品販売助成委託事業の応募事業者がなかったので実施ができなかった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
県外・海外出展事業売上額	目　標	（－）	（2,580千円）	（　）	（　）	（　）
	実　績		0			
【参考指標】アンケート及びヒアリング回収件数	目　標	（－）	（2,260件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2,354件			

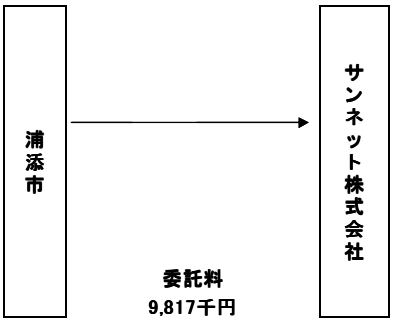
進捗状況説明：
・海外展開について積極的な企業とそうでない企業の相違点、海外展開を実際に行っている企業の成功例及び失敗例、中国国民が持つ沖縄への認識及び海外旅行ニーズを調査した
・県外への特産品販売助成委託事業の応募事業者がなかったので実施ができなかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①中国の行政機関へのアポイントメントの必要性。 ②市内企業へのアンケート調査の回答率増への取り組み。 ③県外への特産品販売助成委託事業の募集がなかった。	①泉州市外事弁公室への訪問の日程は、本市国際交流課を通して調整を行ったが、調整に時間がかかるため、委託事業者と直接調整を行えるよう検討したい。 ②アンケート調査の回答率増のため、回答期間を長く設ける、電話での連絡回数を増やす等の対策が必要となる。 ③特産品販売助成委託事業の募集期間を考慮する必要がある。

今後の取り組み方針

次年度は今年度の調査結果を踏まえ、実際に販路拡大を図るため、県外・国外の見本市や物産展に市の特産品等を出展する取組みを行う。その際の現地の行政機関及び企業との連携や、調整をスムーズに行えるように遠隔地域との協力体制を検討する必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）



総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,817	9,817	7,853	1,964	0

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により選定し、提案の実現性や調査方法・項目について妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４-⑧	島桑オジー＆オバーで観光・産業・街おこしプロジェクト		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３章３節９項イ目 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(4)

事業内容

沖縄特有の桑品種であるシマグワと高齢者の労働力を活用し、蚕の飼育、お茶や桑の実、繭の化粧品、絹糸等の観光型の地域産品開発に取組む。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況 (a) 当初予算額	17,387				
予算の状況 (b) 予算現額	17,386				
予算の状況 (c) 増減額 (b-a)	▲ 1				
予算の状況 (d) 前年度繰越額	－				
A. 計 (b+d)	17,386	0			
B. 執行済額	15,646				
うち交付金充当額	12,487				
次年度繰越額	0				
執行率（%）(B/A)	90.0%				

予算の状況の説明：当初予算では、畑の管理費を契約日から完了日までの8ヶ月分で想定していたが、実際には新規の農地確保が年度末に集中したため、実質1ヶ月の管理費しかかからず、畑管理費の執行率が下がった。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
事業に要する桑木の植え付け	目　標	（3,160坪）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3,836坪			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：島桑を活用した商品開発の検討、調査、製造、販売、普及活動等および桑畑の面積の拡大を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（24年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
事業基盤のための桑植付け面積	目　標	（3,160坪）	（3,160坪）	（　）	（　）	（5,000坪）
	実　績		3,836坪			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：事業の基盤となる畑の賃借、整備、桑の植付け、栽培管理等を実施し、目標面積よりも上回った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①産業化を目指した桑植付け面積の把握および確保。 ②大規模な桑苗木本数の確保、育苗、植付け、収穫までに時間がかかる。	①生産必要量を計算し、明確な必要面積を数値化する。 ②必要な苗木本数の数値化およびそれに向けた生産体制の構築 ③必要のうち面積の早急な確保（他市町村までの拡大）

今後の取り組み方針

本事業は、観光および産業の振興を図るべく沖縄ならではの地域特産品の開発および育成を実施するものであり、今後はより具体的な戦略や数値目標を明確化し、段階的にその目標を達成するような基盤構築や生産体制、販売経路等を調査、検討、構築していくことで、産業化を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

浦添市 → 公益社団法人 浦添市シルバー人材センター

委託費：15,646 千円

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,646	15,610	12,487	3,123	36

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○高齢者を活用する目的の事業として、委託事業者は、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号を根拠とする随意契約を行い、妥当であったと考えている。 ○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑨	浦添市農業フェスタ支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章3(2)イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	市民部　商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(4)

事業内容

JAおきなわ浦添支店が開催する「農協まつり」において、黒糖作り体験、集客イベント開催、会場設備等を支援することで、まつりの充実を通じ、県内だけでなく県外観光客誘客に取り組み、浦添市における特産品である「うらそえ織」製品や島桑を原料にした桑茶や菓子類をPRし観光振興・産業振興を図る。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,360				
	(b) 予算現額	1,360				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,360	0			
B. 執行済額		1,360				
うち交付金充当額		1,088				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：計画どおり執行することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
農協まつり開催支援	目　標	（農協まつり開催支援）	（　）	（　）	（　）
	実　績	農協まつり開催支援			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：JA浦添支店が開催している農協まつりにおいて補助を行うことで、県内・県外観光客誘客までを目標とし、まつり会場整備（テント・音響設備）及びイベント開催（ハルサーエイカー・川満先生・黒糖作り体験等）チラシ広報物作成を行うことでまつり内容の充実と周知を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
農協まつり来場者数	目　標	（1,800人）	（2,100人）	（　）	（　）	（3,000人）
	実　績		2,500人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：会場整備、イベント開催、広報の充実を行った結果、例年より多くの来場者数となった。県内だけでなく、県外からの観光客も見られた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①現在来場者数をまつり飲食物売り上げ数及び駐車台数から類推しており、より正確な来場者数（県内・県外観光客）を把握する必要がある。 ②広報活動の検討。	①来場数把握のために計測方法を検討していく必要がある。（各入り口付近における時間ごとの計測等） ②事前にどこにどれだけの枚数チラシを配布するかを計画し、効率的にまつりを周知していくことが必要である。

今後の取り組み方針

本事業は、まつりを通じ県内だけでなく県外へ市内特産品や沖縄産品を周知し、観光振興・産業振興を図ることが目標であるために、まつり来場者数増が重要であるため、正確な来場者数の把握が求められる。今回実施した計測方法だけでなく各地点での時間当たりの計測等を行えないか検討し、より正確な来場者数の把握に努めていく。 また、より効果の高い集客を行っていく必要がある。24年度観光客聞き込みでの効果の高い広報はレンタカー会社でのチラシであった。これは、レンタカー借用のさいにイベント等がないかチェックする人が多いためであると考えられる。次年度においても、レンタカー会社及びモノレール、ホテルへのチラシの配布を実施して観光客誘客を目指しながら、随時まつりのイベント内容、会場設備等を改善していくことで来場者数増を目指していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

浦添市 → JAおきなわ浦添支店

補助金　1,360千円

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,360	1,360	1,088	272	0

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	補助先（JAおきなわ浦添支店）が行っているまつりは、市内・県内の農作物や特産品をPRするには絶好の機会であり、補助先として妥当であったと考えている。 補助内容においては、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－②	経済人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-5－(5)－イ 地域産業を担う人材の育成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2

事業内容	沖縄の産業振興に資する人材を育成するため、講習会、研修会、セミナーを開催した。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,305				
	(b) 予算現額	4,305				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,305	0			
B. 執行済額		3,692				
うち交付金充当額		2,954				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		85.8%				
予算の状況の説明		・不用額が約60万円発生しているが、主にプロポーザル（入札）残によるものであり、事業内容は全て実施しており適正であると考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
研修等の開催：6回	目　標	（　6回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	6回			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	人材育成セミナー（「モチベーションアップ」、「キャリアプラン」、「ビジネスコミュニケーション」、「ロジカルシンキング」、「チームビルディング」）5回、講演会1回を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
研修・セミナー受講者数：100人	目　標	（　0　）	（　100人　）	（　）	（　）	（　500人　）
	実　績		277人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	人材育成セミナー（「モチベーションアップ」・・・17人、「キャリアプラン」・・・20人、「ビジネスコミュニケーション」・・・21人、「ロジカルシンキング」・・・22人、「チームビルディング」・・・18人）98人、講演会179名の受講者があった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	２月からの事業実施のため、研修後のフォローアップ（研修成果）の調査が少なかった。	人材育成に係るセミナー等は一朝一夕に成果が見られるものでないことから、一定期間後の後追い調査を実施し、事業実施の検証をする必要がある

今後の取り組み方針

事業実施を前年度より早めることにより、研修後の後追い調査を充実させ研修の中身、及び成果を細かく検証する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,692	3,692	2,954	738	0

浦添市
3,692千円

→ 委託料
3,692千円

→ 特定非営利活動法人
キャリエイト
3,692千円

（人材育成事業にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－③	IT人材研修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-5－(5)－ア リーディング産業を担う人材育成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2
事業内容	実社会でのニーズに対応できる人材を育成するため、IT関連の研修を開催した。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,300				
	(b) 予算現額	6,300				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,300	0			
B. 執行済額		4,987				
うち交付金充当額		3,989				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		79.2%				
予算の状況の説明		不用額が約130万円発生しているが、主にプロポーザル（入札）残によるものであり、事業内容は全て実施しており適正であると考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
IT人材研修開催	目　標	（　5講座　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3講座			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：「エクセル」、「ワード」、「コミュニケーション」の3講座を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
受講者数：20人	目　標	（　―　）	（　20人　）	（　）	（　）	（　累計100人　）
	実　績		20人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：全受講者20名中、3講座すべてを習得したのは17名であった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	パソコンスキルが非常に低い研修生も多かったために、3か月では全講座を習得することができなかった。	研修期間の延長することにより就職につながるスキルの向上が図れる

今後の取り組み方針

昨年度の研修期間（3か月）を半年程度に延長し、研修時間の充実に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,987	4,987	3,989	998	0

浦添市
4,987千円
→ 委託料
4,987千円
→ 株式会社JOB BANK
4,987千円
（人材育成事業にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-④	スーパー･コミュニケーショナルスクール事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(5)－ウ 産業振興を担う人材育成
担当部課名	教育部　総務課	事業実施（予定）年度：平成24～平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2

事業内容

近い将来、西海岸開発に伴い大型国内･国外企業の誘致（ホテル･ショッピングモールなど）が予想されることから、コミュニケーション能力の高い人材の需要が予想される。加えて、今後ますます進むと考えられる国際化へ対応するためには、特に英語と中国語は必須の条件と考えられる。よって、この二ヶ国語を集中的にマスターするための教育機関としてスーパー･コミュニケーショナルスクールを設置し、人材育成を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,000				
	(b) 予算現額	5,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,000				
B. 執行済額		4,970				
うち交付金充当額		3,976				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.4%				
予算の状況の説明		計画どおり執行できた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
スーパー･コミュニケーショナルスクールの設置･運営	目　標	（　設置･運営　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	設置･運営			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：スーパー･コミュニケーショナルスクールの設置･運営

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
スーパー･コミュニケーショナルスクールの設置･運営	目　標	（　－　）	（設置･運営）	（　）	（　）	（スクール修了生 60人）
	実　績		設置･運営			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：スーパー･コミュニケーショナルスクールの設置･運営

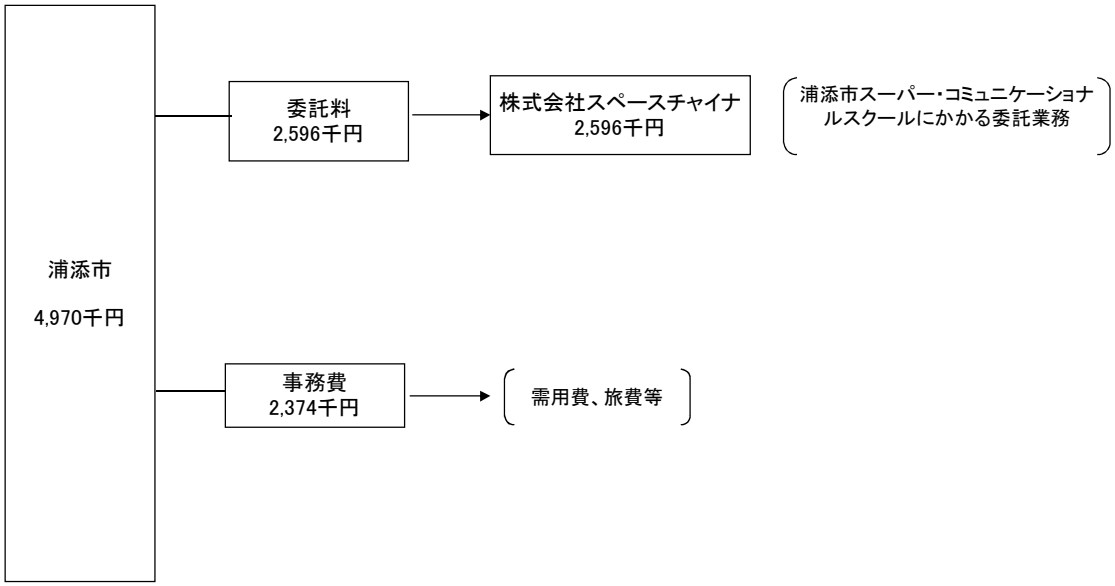
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○平成25年4月開校に向けて庁内で検討委員会を設置し事業の方向性について検討した結果、語学等に関しては民間活力を活かした一部事務委託方式で実施することとした。 ○教育委員会で事業推進をするが、産業面や国際面との関わりが深いため常に他部局との連携を図ることが重要である。 ○生徒募集については時期の見直しが必要である。 ○選考については応募多数の場合は、面接前に書類による選考を考えた。定員に対しおおむね3倍の募集を目安としたが、時間的に厳しい面があったので検討が必要である。	○嘱託員（2名）で行う予定であった業務を一部業務委託としたため、事務局体制の見直しと強化を図り、なおかつ事務局職員の業務を補助するため臨時職員（1名）を配置した。 ○特にプロポーザル審査では、語学、商工産業の専門家に入ってもらうよう考慮した。 ○合格決定通知を1ヶ月早めることにより、入学手続きをスムーズに行えるよう検討する。 ○25年度の合格者の書類と面接の合計点を検証したうえで、定員に対する選考倍率に反映したい。

今後の取り組み方針

民間活力を活かした一部業務委託として運営し、人材育成に取り組む。募集期間については、1ヶ月早めにし実施し、学生に負担をかけないことと応募が多い場合には書類選考や面接がスムーズにできるよう取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,970	4,970	3,976	994	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は公募型プロポーザル方式により、組織、実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。○費目・使途については事業目的の観点から適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－⑥	総合物流センター可能性調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ 人流・物流を支える港湾の整備
担当部課名	西海岸開発局　西海岸開発課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(3)

事業内容	物流機能の強化及び物流関連企業の誘致等を促進するため、国際・国内貨物を取り扱う那覇港総合物流センター整備の可能性調査を実施する。
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,546				
	(b) 予算現額	5,546				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,546				
B. 執行済額		5,545				
うち交付金充当額		4,436				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画どおり執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇港における総合物流センターの需要、可能性調査の実施	目　標	（　25社　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	25社			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	
	活動目標どおり、企業アンケートやヒアリングにより、総合物流センターの需要の見込みや企業のニーズが把握できた。また、地質調査の実施により、液状化の可能性が把握できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
那覇港における総合物流センターの需要、可能性調査の実施	目　標	（　－　）	（　25社　）	（　）	（　）	（　－　）
	実　績		25社			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	
	成果目標どおり、施設の仕様、規模、工法、運営方法等の検討により本センターの事業化の方策をとりまとめることができた。

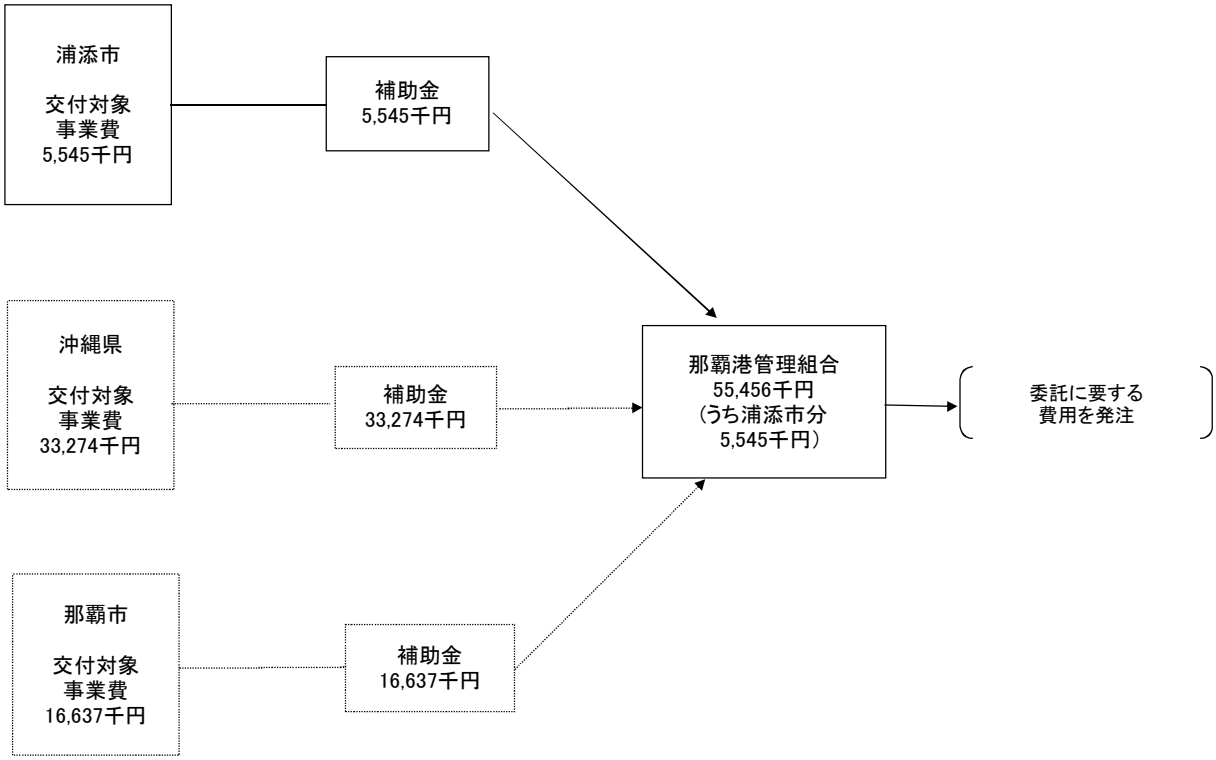
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	企業ヒアリングの結果、当該施設を民間事業で整備する場合、当面必要な施設の整備（平屋）のみにとどまり、当該土地の有効活用、施設の機能高度化に対応できない。 また、民間事業で整備する場合、建設コスト等により賃貸料を割高に設定することが想定され、物流コストの縮減には繋がらない。 企業のニーズとしては、事業費が大きいことから、公設民営（テナント入居）の希望が最も多かった。	当該土地の有効活用、施設の機能高度化に対応するためには、本センターを公で整備する必要がある。 本センターを公設民営で整備し、賃貸料を安価に設定することで、物流コストを縮減することが可能となり、また、組立加工産業等の新たな企業の誘致に繋がる。

今後の取り組み方針

一括交付金を含めた公的資金を充当し、公設民営による施設整備を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,545	5,545	4,436	1,109	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・負担割合について、「那覇港管理組合の設立に関する覚書」にて沖縄県6、那覇市3、浦添市1となっており、妥当であったと考えている。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－⑦	浦添市西海岸開発基本方針検討事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ 人流・物流を支える港湾の整備
担当部課名	西海岸開発局　西海岸開発課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(3)

事業内容

那覇港管理組合が10年毎に策定する港湾計画が平成25年度に改定される。この改定に市のビジョンを盛り込むため、国際観光交流拠点を拡大する土地利用の検討、立地環境特性を考慮した地型の検討等を行い、地先自治体として、浦添ふ頭地区の地元基本計画を作成する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	10,059				
	(b) 予算現額	10,059				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	10,059				
B. 執行済額		9,660				
うち交付金充当額		7,728				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		96.0%				
予算の状況の説明		計画どおり執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
浦添ふ頭地区の基本計画の策定	目　標	（ 基本計画の策定 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基本計画の策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：地先自治体として那覇港港湾計画改定に向けた、浦添ふ頭地区の地元基本計画を作成した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
浦添ふ頭地区の基本計画の策定	目　標	（　－　）	（ 基本計画の策定 ）	（　）	（　）	（　－　）
	実　績		基本計画の策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：成果目標どおり、浦添ふ頭地区の基本計画を取りまとめることができた。

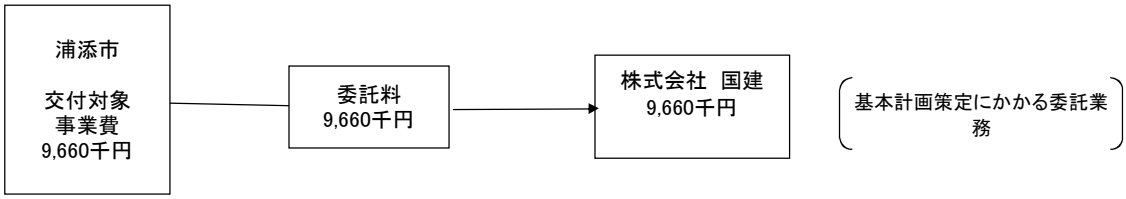
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	現在、未整備の那覇港浦添ふ頭地区は港湾計画において、コースタルリゾート地区と国際物流地区とで構成されている。那覇港管理組合における国際物流の需要調査と関連業務（那覇港浦添ふ頭地区港湾関連用地活用調査）でおこなった観光産業の需要調査の結果を比較した結果、国際物流に関する需要よりも、観光産業の需要が高かった。また、地形に関して、現行の港湾計画では雨水の排水に問題がある。	現行の港湾計画の国際物流を国際観光交流拠点とする地元方針案を作成し、港湾計画改訂に反映させたい。また、地形について既設の土地との間に運河を設けることにより、雨水の排水問題の解決を図る事ができる。

今後の取り組み方針

那覇港管理組合が行う港湾計画の改訂にさいし、魅力ある浦添ふ頭地区の地元方針案として、策定した基本計画を示し、改訂計画に反映させるべく関係機関と協議を進め、那覇港機能の充実や国際交流拠点の整備を推進し、観光産業の振興を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,660	9,660	7,728	1,932	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－⑧	那覇港浦添ふ頭地区港湾関連用地活用調査		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ 人流・物流を支える港湾の整備
担当部課名	西海岸開発局　西海岸開発課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(3)

事業内容

浦添ふ頭国際物流地区（港湾関連用地）を国際観光交流拠点として拡張した場合の企業の動向等を把握するため、需要動向調査（ヒアリング及びアンケート）及び先進地事例調査を実施し、土地利用基本方針案の根拠資料等に供する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	10,532				
	(b) 予算現額	10,532				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	10,532				
B. 執行済額		10,238				
うち交付金充当額		8,190				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.2%				

予算の状況の説明：計画どおり執行することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
需要動向及び先進地事例の調査資料作成	目　標	需要動向、先進地事例調査の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績	需要動向、先進地事例調査の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：浦添ふ頭国際物流地区（港湾関連用地）を国際観光交流拠点として拡張した場合の企業の動向等を把握するため、需要動向調査（ヒアリング及びアンケート）及び先進地事例調査を実施し、土地利用基本方針案の根拠資料等を作成することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
需要動向及び先進地事例の調査資料作成	目　標	（　－　）	（需要動向、先進地事例調査の実施）	（　）	（　）	（　－　）
	実　績		需要動向、先進地事例調査の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：成果目標どおり、需要動向調査（ヒアリング及びアンケート）及び先進地事例調査を実施し、土地利用基本方針案の根拠資料等を作成することができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	現在、未整備の那覇港浦添ふ頭地区は港湾計画において、コースタルリゾート地区と国際物流地区とで構成されている。本業務において観光産業系の企業へアンケート及びヒアリングを行った結果、企業における当該地区への興味は非常に高く、進出希望面積において、コースタルリゾート地区では用地が足りない現状である。	関連業務の浦添市西海岸基本方針において、那覇港管理組合で行っている国際物流の需要と本業務で行った観光産業の需要を比較し、那覇港浦添ふ頭の国際観光交流拠点としての整備の可能性を検証し、那覇港管理組合が行う港湾計画の改訂に反映させたい。

今後の取り組み方針

那覇港管理組合が行う港湾計画の改訂に際し、魅力ある浦添ふ頭地区の地元方針案として土地利用基本方針案を示し、改訂計画に反映させるべく関係機関と協議を進め、那覇港機能の充実や国際観光リゾートの整備を推進し、観光産業の振興を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,238	10,238	8,190	2,048	0

浦添市
交付対象事業費
10,238千円

→ 委託料
10,238千円

→ ｼｰﾋﾞｰｱｰﾙｲｰ株式会社
10,238千円

（土地利用基本方針案の根拠資料作成に係る委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は企画コンペ方式により、業務内容に関する企業の提案内容を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7－①	未来へ翔たく太陽っ子育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(2)－ア 公平な教育機会の享受に向けた環境整備
担当部課名	指導部　学務課	事業実施（予定）年度	平成24年度～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

・スポーツ・文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、県外で開催される全国大会（ブロック大会含む。）に参加する児童生徒（大会登録選手に限る）を対象として、大会開催地までの渡航に必要な旅費の一部を補助する。

◎沖縄振興特別推進交付金対象経費：航空賃又は船賃の半額を上限。

実施方法　□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	25,000				
	(b) 予算現額	19,000				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,000				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	19,000	0			
B. 執行済額		12,839				
うち交付金充当額		3,492				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		67.6%				

予算の状況の説明：・執行残が大きいのは、対象事業が9/4（内諾日）以降になったため、当初予定していた4月～8月分が不用となった。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
全国大会等県外派遣生徒数（480人）への航空賃及び船賃への一部補助	目　標	（480人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	延257人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・スポーツ・文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣に要する費用の一部を補助し、九州大会27回、全国大会11回に延257人の児童生徒が出場した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
全国大会等県外派遣生徒数（480人）への航空賃及び船賃への一部補助	目　標	（延413人）	（延480人）	（　）	（　）	（年間 延480人）
	実　績		延257人			
【参考指標】H24～H33 延4,500人	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・スポーツ・文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣に要する費用の一部を補助することにより38件（延257人）の児童生徒が、他県でのスポーツ、文化の大会等に参加した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・県外派遣を通して、人材育成を図った際の成果のあり方が、書面等で出にくい。 ・強い学校・個人が限定されてくる。	・広く多くの児童生徒に事業を活用してもらうため、要件等の見直しを図る。

今後の取り組み方針

・沖縄県を代表し、他県の児童生徒と交流する機会を増やすことによって、自分を知り、沖縄及び他県の特性も知り、さらに、世界を意識することで、より大きな視野を持てる人材育成を育成することができる。また、より多くの児童生徒が、スポーツ、文化交流を通して、一人ひとりの能力や、個性、可能性を伸ばし、友好・親善の精神を育むことができる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,839	4,365	3,492	873	8,474

☆市の補助金申請の流れ

派遣対象者 → 交付申請 → 浦添市 19,000 → 交付指令（補助金交付） → 対象者 旅費支払 → 県外派遣 → 実績報告 領収書等提出 → 浦添市（精算） 補助確定 → 補助確定通知 → 対象者

◎上記、補助額のうち、県外派遣に要した航空賃、船賃の1/2を上限に沖縄振興特別推進交付金を交付申請。

県外派遣費
一部補助

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○使途について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	８－①	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－イ 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
担当部課名	学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

児童の社会性・協調性を養い、エコアイランド沖縄に向けた人材育成を図るため、小学校5年生を対象とした自然、農業、漁業の体験宿泊学習を行なう。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	12,670				
	(b) 予算現額	12,670				
	(c) 増減額 (b-a)					
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	12,670	0			
B. 執行済額		12,638				
うち交付金充当額		10,109				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.7%				

予算の状況の説明：消耗品費に少額の執行残が生じたが、ほぼ計画とおりに執行できた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市内小学校5年生全員を対象に自然・農業・漁業の体験宿泊学習を実施	目　標	（　1,427　人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	1,427 人			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：特別支援学級の児童等も含め、殆どの児童が参加できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市内小学校5年生全員を対象に自然・農業・漁業の体験宿泊学習を実施	目　標	（　－　）	（　1,427 人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		1,427 人			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：特別支援学級の児童等も含め、殆どの児童が参加できた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	課題としては、台風などの自然条件に影響される事業のため、今後の事業計画は、そのあたりも想定して取り組んでいきたい。	現在のカリキュラムも好評ではあるが、現状に満足せず、児童・保護者・教師等のニーズの把握、情報収集は今後もしっかり行い、カリキュラムの適時性を見極める。

今後の取り組み方針

ニーズの把握や情報収集を行い、事業内容をしっかり検証しながら取り組んでいく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,638	12,637	10,109	2,528	1

浦添市
12,638千円

- **指導員謝礼金 1,386千円** →
  - 沢岻小学習指導員8名　252,000円
  - 内間小学習指導員6名　189,000円
  - 港川小学習指導員8名　252,000円
  - 浦城小学習支援員12名　378,000円
  - 当山小学習支援員10名　315,000円
- **消耗品費 69千円** →
  - 港川小　19,751円
  - 浦城小　29,815円
  - 沢岻小　19,685円
- **事業委託料 11,183千円** →
  - 東村ふるさと振興株式会社　11,182,400円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託業者は、安全性の確保や体験内容の充実度、天候の変化等への対応、地域（民泊・農業体験・漁業体験）との連携等において、最適である。 ・受益者（小学校5年生）は、各自の食費を負担するが、その他の費用を市が負担することで、より多くの児童が参加できている。 ・費目・使途は事業の目的に沿って執行されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	８－②	学力等底上げ推進支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ア 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
担当部課名	学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

児童生徒の学力の底上げを図り、沖縄振興を支える人材を育成するため、学校教育支援員・日本語教育支援員・教育相談員を各学校へ配置する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	43,042				
	(b) 予算現額	43,042				
	(c) 増減額 (b-a)					
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	43,042	0			
B. 執行済額		41,137				
うち交付金充当額		32,908				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.6%				

予算の状況の説明：支援員の確保が出来ず欠員期間が生じたため、賃金に執行残が生じた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・学校教育支援員　16名 ・日本語教育支援員　2名 ・教育相談員　16名	目　標	（34人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	34人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：欠員期間があったが、最終的には配置できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・学校教育支援員　16名 ・日本語教育支援員　2名 ・教育相談員　16名	目　標	（－）	（34人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		34人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：欠員期間があったが、最終的には配置できた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・各学校における活用状況を検証すると、各学校では支援員等を充分に活用し、児童生徒への支援体制が整えられている。 ただし、今後の安定した事業運営に向けては、支援員等の人材確保について懸念される部分がある。 また、本事業は学力底上げを目標に学校支援体制の強化を図っており、全国学力テストをその指標に掲げている。ただし、その効果が表れるには中長期的な期間を要することが考えられるため、短期的な効果をどのように示していくかが、本事業の目標を達成するために重要になってくると考える。	安定した人材の確保や、事業効果の指標のありかたについて検証する必要がある。

今後の取り組み方針

・平成28年度には、全国学力テストの平均点を全国平均（66.1点）まで引き上げられるよう、学力の底上げを図る。
そのためには、より良い人材を安定して確保することと、事業効果についてしっかり分析していく必要があり、その方法についてしっかり検証していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
41,137	41,137	32,908	8,229	

浦添市
41,137千円

- **学校教育支援員 31,462千円** → **臨時職員の配置（賃金）**
  小学校11校 × 2名 ＝ 22名
  中学校 5校 × 2名 ＝ 10名
- **日本語教育支援員 2,007千円** → **臨時職員の配置（賃金）2名**
- **教育相談員 7,431千円** → **相談員の配置（謝礼金）**
  小学校11校 × 1名 ＝ 11名
  中学校 5校 × 1名 ＝ 5名
- **消耗品費 237千円** → **各業者へ支払い**

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支援員は、学校推薦者と担当課における面接により選考した。 ・賃金は、市の基準単価による ・謝礼金は、市の基準単価内
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9	がんじゅうちびっ子育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－イ 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
担当部課名	指導部　学務課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容	・高温多湿の沖縄県で、夏場においても園児の健康を確保するため、市立幼稚園に業務用冷蔵庫を整備するなど衛生環境の改善を図る。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,660				
	(b) 予算現額	4,239				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,421				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,239	0			
B. 執行済額		4,238				
うち交付金充当額		3,391				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施し、備品購入費の入札残を補正減した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
業務用冷蔵庫の設置	目　標	（　11台　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	11台			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	・衛生面・健康面での育児環境が向上した幼稚園数：11園

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
業務用冷蔵庫の設置	目　標	（　－　）	（　11台　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		11台			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	・事業実施によって、衛生面・健康面での育児環境が向上した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・公立幼稚園就園率全国上位であり、就学前入園の認識が高い沖縄県において、栄養補給及び衛生管理のうえで、必要不可欠な保冷庫を完備し、猛暑の中でも衛生面にも健康的な環境を保持し、元気いっぱい、活発で健康的（がんじゅう）な園児の育つ環境を整備が図られた。	・牛乳のみならず、軽食等の衛生管理に役立てることができる。

今後の取り組み方針

・少子高齢化社会の進展や核家族の増加傾向にある現代において、本市は若い世代が多く共働き世帯も必然的に多い。園児を安心して幼稚園に預けることにより、共働き世帯や若い世代の母親の育児の軽減やアドバイスを行い、健全な育児環境を整えることができる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,238	4,238	3,391	847	

浦添市 5,660千円 → 備品購入費 5,660千円 → ニッコー株式会社 4,238千円 → 業務用冷蔵庫購入 11台

↓ 執行残

浦添市 補正減△1,421千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札により執行され、支出等に関する書類も確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10－①	浦添の歴史文化整備保存事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－（4）－エ 伝統文化の保存・継承及び新たな文化の創造
担当部課名	文化部　浦添市立図書館	事業実施（予定）年度	H24～H30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－2
事業内容	浦添の歴史文化資料を市民共有の財産として音声資料の翻刻およびデジタル化等を実施した。今後浦添の歴史を語る知的財産として記録・保存・活用をすすめていくことで「浦添の歴史文化資料」への関心を高め観光の振興と郷土の歴史を後世へ引き継ぐ人材の育成に寄与する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,623				
	(b) 予算現額	7,623				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	7,623				
B. 執行済額		5,345				
うち交付金充当額		4,274				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		70.1%				
予算の状況の説明		マイクロ資料のデータベースを作成し、検索システムの構築までを予定していたが、すべての資料のデジタル化を実施した後、総合的に「デジタルデータ」として利用する環境を整えることとしたため、当初予算より減の執行となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
①移民・出稼・移住体験聴取調査音声記録翻刻	目　標	（159件）	（　）	（　）	（　）
	実　績	159件			
②マイクロフィルム戦前新聞資料 先嶋新聞印刷製本	目　標	（10冊）	（　）	（　）	（　）
	実　績	10冊			
③戦前移民名簿データ入力	目　標	（2,228件）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2,228件			
④マイクロフィルム戦前新聞資料ﾃﾞｼﾞﾀﾙ化	目　標	（7紙）	（　）	（　）	（　）
	実　績	7紙			
⑤戦争・戦後体験および民話・民謡等聴取調査 音声記録資料ﾃﾞｼﾞﾀﾙ化等	目　標	（318本）	（　）	（　）	（　）
	実　績	318本			

達成状況説明：①聴取調査の音声記録を翻刻した。②マイクロフィルム戦前新聞資料を閲覧に供するよう印刷製本を行った。③戦前移民名簿をデータ入力することにより、浦添からの移民数を確認することができた。④マイクロフィルム戦前新聞資料をデジタル化し資料の劣化を防ぎ、将来的な保存が可能となった。⑤戦争・戦後体験および民話・民謡等聴取調査の音声記録をﾃﾞｼﾞﾀﾙ化し資料の劣化を防ぎ将来的な保存が可能となった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（30年度）
①移民・出稼・移住体験聴取調査音声記録翻刻	目　標	（－）	（159件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		159件			
②マイクロフィルム戦前新聞資料 先嶋新聞印刷製本	目　標	（－）	（10冊）	（　）	（　）	（　）
	実　績		10冊			
③戦前移民名簿データ入力	目　標	（－）	（2,228件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2,228件			
④マイクロフィルム戦前新聞資料デジタル化	目　標	（－）	（7紙）	（　）	（　）	（　）
	実　績		7紙			
⑤戦争・戦後体験および民話・民謡等聴取調査 音声記録資料ﾃﾞｼﾞﾀﾙ化等	目　標	（－）	（318本）	（　）	（　）	（　）
	実　績		318本			
【参考指標】浦添市立図書館「沖縄学研究室」利用者数。※デジタルデータの閲覧システムの構築と活用・普及による歴史資料の閲覧及び展示会、講演会等への参加者数。	目　標	（1,728人）	（－）	（　）	（　）	（1,900人）
	実　績		1,637人			

進捗状況説明：平成24年度においては下記とおりの成果を示すことができる。
①聴取調査の音声記録を翻刻し、証言集としてまとめることができた。
②製本したマイクロフィルム戦前新聞資料の閲覧が容易にできた。
③戦前移民名簿をデータ入力することにより、浦添からの移民名簿の整備ができた。
④マイクロフィルム戦前新聞資料をデジタル化し資料の劣化を防ぎ、将来的な保存・利活用に備えることができた。
⑤戦争・戦後体験および民話等聴取調査の音声記録をﾃﾞｼﾞﾀﾙ化し資料の劣化を防ぎ将来的な保存・利活用に備えることができた。
今後沖縄学研究室の「浦添の歴史文化資料」としての活用・普及を図り、観光の振興と浦添の歴史を後世まで引き継ぐ人材の育成に寄与する。

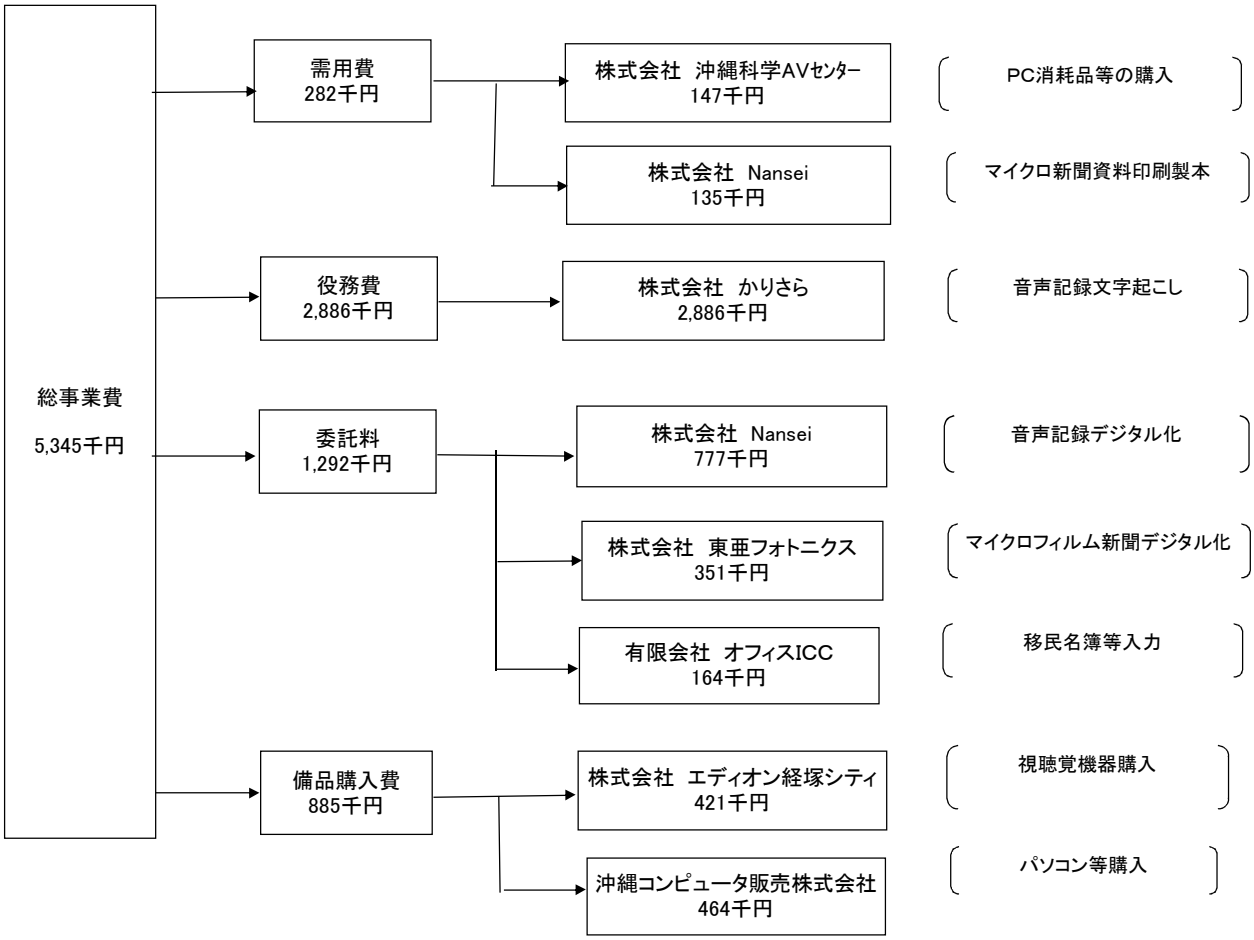
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	デジタルデータの検索システム構築について、音声・写真・映像等の形態の異なる資料を利用者へ効果的に提供するシステムについて決定できなかった。また、映像資料・写真資料については膨大な量が未整備となっている。	デジタルデータの検索システム構築について、写真・映像・音声等の形態の異なる資料を利用者へ効果的に提供するシステムについて情報の収集を行う。写真資料については、継続して整理し、デジタル化に向けての作業をすすめる。

今後の取り組み方針

本事業において浦添の歴史文化資料のデジタル化等をすすめ、閲覧システムの構築を実施し、閲覧・利活用の環境を整備する。平成25年度以降は①写真資料②映像資料③その他資料の整備を実施する。平成25年度は移民・出稼・移住体験の聴取調査の音声記録の翻刻により、証言をまとめ、戦前移民名簿をデータをもとに移民名簿を整備し「浦添市移民史　資料・証言編（仮題）」刊行する。平成26年度は専門委員の検証により「浦添市移民史論考編（仮題）」を刊行する。平成27年度以降は「浦添の民話」の刊行について検討する。これらの事業をとおして、浦添の歴史資料への関心を高め、関係講座及び展示会を実施、資料の閲覧により県内外からの利用者数の拡大を図り観光の振興と浦添の歴史を後世へ引き継ぐ人材の育成に寄与する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,345	5,345	4,274	1,071	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はそれぞれの事業で実績をを勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10－②	歴史にふれる館整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化を確認できる環境づくり
担当部課名	文化部　文化課	事業実施（予定）年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

港川調理場移転に伴う空き施設を文化財の保存と展示施設として再利用するための改修設計を行う。
本事業は、浦添城跡をはじめとする市内の遺跡発掘調査で出土した土器・石器・陶磁器等の遺物、市民から寄贈された民具、近世の浦添の一端を表出する近世墓と厨子甕等を展示活用することで、浦添市の歴史と文化への理解と、文化財保護の高揚を図り、本市の文化振興及び観光振興を図る。
また、発掘調査出土遺物の一時保管、発掘調査報告書掲載遺物等の利活用のための収蔵施設とする。

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,349				
	(b) 予算現額	7,349				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	7,349	0			
B. 執行済額		7,193				
うち交付金充当額		5,754				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.9%				

予算の状況の説明

・不用額が156千円発生しているが、実施設計業務委託費等の入札残によるもので業務目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
歴史にふれる館の整備に係る実施設計	目　標	（　実施設計策定　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	実施設計策定			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

歴史にふれる館の改修内容について課内意見を集約し、設計条件へ反映させた。また、県内の文化財展示収蔵施設を視察し、必要な設計資料等を収集した。これらをもとに改修工事設計及び構造計算、設備工事設計、外溝工事設計等を委託実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（26年度）
歴史にふれる館の整備に係る実施設計	目　標	（　　）	（実施設計策定）	（　　）	（　　）	（開館準備完了）
	実　績		実施設計策定			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（0人）
	実　績					

進捗状況説明

平成27年度の開館に向け、本年度は実施設計をおこなった。次年度は改修工事を実施する予定である。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	集客にあたり周辺スポーツ施設と連動し相乗効果を図ることが課題である。	市関係部局と連携することで対応したい。

今後の取り組み方針

市関係部局と連携し集客に向けて取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,193	7,193	5,754	1,439	

浦添市
7,193千円

→ 委託料 7,193千円 → 有限会社　汎設計工房

（歴史にふれる館実施設計業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で市指名業者選定委員会が選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10-③	琉球空手のルーツを探る事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-エ
				文化の発信・交流
担当部課名	文化部文化課	事業実施（予定）年度：平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-(3)-2

事業内容

文化と観光の振興に資するため、琉球固有の武術「手（ティー）」と中国武術の関連性について調査するとともに、相互の武術交流を実施する。平成24年度は、上記2つの目的を進めるための準備作業（文献調査・現地調査）をおこなった。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	940				
	(b) 予算現額	940				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	940	0			
B. 執行済額		551				
うち交付金充当額		440				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		58.6%				

予算の状況の説明：389千円の不用額は、報償費および旅費の執行残、需用費（消耗品）・役務費（翻訳）の執行が発生しなかったことによる。

活動目標（指標）及び達成状況

		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
琉球空手と中国武術との関連性の調査	目標	（事前調査）	（　）	（　）	（　）
	実績	事前調査			
琉球空手と中国武術の交流の実施	目標	（交流の実施）	（　）	（　）	（　）
	実績	交流の実施			

達成状況説明：調査検討委員会にて調査案をまとめ、それに基づき、現地関係団体関係者と面談し、同事業の趣旨と事業計画を説明をおこなった。面談した行政組織や関係団体者等からは、同事業への理解を得ることができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（26年度）
・琉球空手と中国武術との関連性の調査	目標	（－）	（事前調査）	（　）	（　）	（シンポジウム参加者数300）
	実績		事前準備			
琉球空手と中国武術の交流の実施	目標	（　）	（交流の実施）	（　）	（　）	（　）
	実績		交流の実施			

進捗状況説明：事業実施によって、中国側の関係者から当事業への理解と今後の協力を了承する旨の返事を得た。平成25年度事業では、琉球空手と中国武術の関係者間で調査研究と武術交流を実施する。

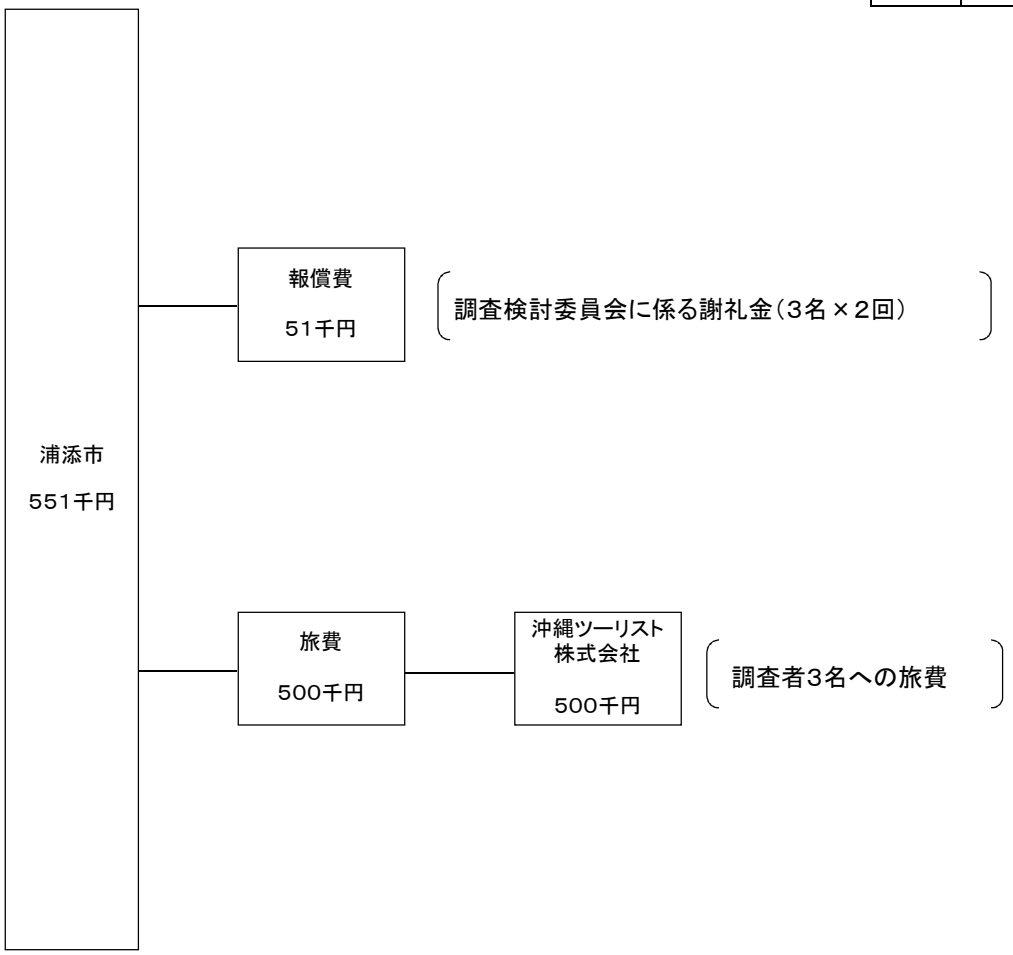
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当事業は琉球固有の武術「手（ティー）」と中国武術との関連性を探ることを一つの目標としているが、委員の意見として中国における研究状況の取りまとめは、中国の研究者の協力を得る必要があるとの指摘があった。	中国武術研究については、現地研究者との協力を得ながら進めていきたい。

今後の取り組み方針

平成25年度事業では、琉球空手と中国武術の関係者間の調査研究と武術交流を実施する。また琉球空手および琉球固有の武術「手（ティー）」の研究を調査検討委員および地元研究者との協力を得ながら進め、一方で中国武術研究については現地研究者に協力を得ながら進めていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
551	551	440	111	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・調査検討委員の選定は、空手に造詣のある専門家に絞っており、今回調査案も専門的な視点によって精査され、一定の成果を上げることができた。よって妥当である。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認・適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11	学校給食衛生管理機能拡充事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	浦添市立学校給食調理場	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

高温多湿気候の沖縄県において、学校給食の更なる安全・安心を確保するため、老朽化が著しい市内小中学校の保冷庫を整備し、衛生環境の向上を図る。また、学校給食調理場の衛生管理機能拡充のため、浦添共同調理場の調理室内に食品保冷庫（和え物用）を設置する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	18,371				
	(b) 予算現額	18,371				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	18,371	0			
B. 執行済額		18,081				
うち交付金充当額		14,464				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.4%				

予算の状況の説明：計画どおり予算執行することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
牛乳保冷庫及び食品保冷庫設置台数	目　標	（牛乳保冷庫21台 食品保冷庫2台）	（　）	（　）	（　）
	実　績	牛乳保冷庫21台 食品保冷庫2台			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市内小中学校に設置されている老朽化した牛乳保冷庫を更新することにより、衛生管理機能が向上した。また、浦添共同調理場内に食品保冷庫を新規設置することにより、衛生管理機能の拡充が図られた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
衛生環境が向上した小中学校数及び調理場	目　標	（0台）	（小中学校12校 1調理場）	（　）	（　）	（　）
	実　績		小中学校12校 1調理場			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：当初見込みどおり、目標が達成された。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初の成果目標により、衛生環境が向上した小中学校がある一方で、その他の学校についても、今後衛生環境の向上を図る必要が想定される。また、給食調理場においては、食品保冷庫を設置したことで、和え物をより衛生的に管理保管することが可能になったが、小中学校においては専用の保冷庫が設置されていない現状である。	推進上の問題等を踏まえて、定期的に小中学校に設置されている牛乳保冷庫の機能面等の状況を調査し、衛生管理に支障があるものについては、更新に向けて検討する。学校現場の更なる衛生管理機能拡充のため、和え物専用の保冷庫を設置する必要があると考える。

今後の取り組み方針

各小中学校に設置されている給食受け室内の衛生環境等の調査、衛生的な面で和え物専用の保冷庫の設置の必要性及び設置スペースの有無等を勘案し、また牛乳保冷庫の老朽化による機能低下の有無も並行して調査し、今後取り組んでいく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,081	18,081	14,464	3,617	

学校給食衛生管理機能拡充事業

備品購入費 18,081千円 →
- 牛乳保冷庫設置事業 → 有限会社　沖厨　12，988，500円　〔牛乳保冷庫の購入〕
- 食品保冷庫設置事業 → **有限会社中島工業　5,092,500円**　〔食品保冷庫の購入〕

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入業者の選定については、業者選定委員会に諮り選定されており、妥当であったと考える。 ○費用・使途については、当初の事業目的の観点から、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１２－①	幼稚園てぃーだっ子のびのび事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ 子育てセーフティーネットの充実
担当部課名	学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4

事業内容

全国と比較して保育所の待機児童が多い本市において、子育て支援を推進するため、小学校と連携した公立幼稚園において、2年保育と預かり保育の充実を図る。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	21,800				
	(b) 予算現額	21,800				
	(c) 増減額 (b-a)					
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	21,800	0			
B. 執行済額		21,137				
うち交付金充当額		16,909				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.0%				

予算の状況の説明：幼稚園教諭の確保が出来ず欠員期間が生じたため、賃金に執行残が生じた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・4歳児及び預かり保育の実施	目　標	（633人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	633人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：欠員期間があったが、最終的には配置できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
・4歳児及び預かり保育の幼児数	目　標	（549人）	（633人）	（　）	（　）	（－）
	実　績		633人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：4歳児及び預かり保育の幼児数を前年度より多く受け入れることができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・各幼稚園においては、充実した4歳児保育と預かり保育が実施できた。 しかし、教諭の確保には苦慮しており、今後の人材確保について懸念される部分もある。 ・事業の更なる拡充に向けては、施設面での充実と更なる人材確保などの課題がある。	今後の幼稚園振興に向けて、ニーズ調査等を実施し幼稚園の振興計画を策定し、子育て支援を図る。

今後の取り組み方針

幼稚園振興計画を策定し、今後の子育て支援や幼稚園の振興を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,137	21,137	16,909	4,228	

浦添市
21,137千円

- **4歳児担当教諭 10,152千円** → **臨時職員の配置（賃金）幼稚園11園へ10名配置**
- **預かり保育担当教諭 10,792千円** → **臨時職員の配置（賃金）幼稚園11園へ14名配置**
- **消耗品費 193千円** → **各業者へ支払い**

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・幼稚園教諭は、担当課における面接により選考した。 ・賃金は、市の基準単価による
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１２-②	浦添市学童っ子応援プロジェクト		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	福祉部　保育課	事業実施（予定）年度	平成２４年度 ～平成３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4

事業内容

放課後児童クラブに入所している保護者の負担軽減を図り、子育て環境を整備するため、民間施設の賃貸で運営する放課後児童クラブに対し、公的施設入所までの間、月額5万円を上限として家賃の半額補助を行なう。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,640				
	(b) 予算現額	3,640				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,640	0			
B. 執行済額		3,002				
うち交付金充当額		2,401				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		82.5%				

予算の状況の説明：・補助要件に該当しなかったことにより、2箇所の学童クラブが対象外となったため、執行率が低くなった。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
学童クラブへの家賃補助	目　標	（　10箇所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	10箇所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：公的施設に入居していない放課後児童クラブ10箇所に対し、家賃補助を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
公的施設入居学童クラブ数	目　標	（　－　）	（　2箇所　）	（　）	（　）	（　－　）
	実　績		2箇所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：民間施設の賃貸で運営していた放課後児童クラブのうち、2箇所が公的施設に移行した。

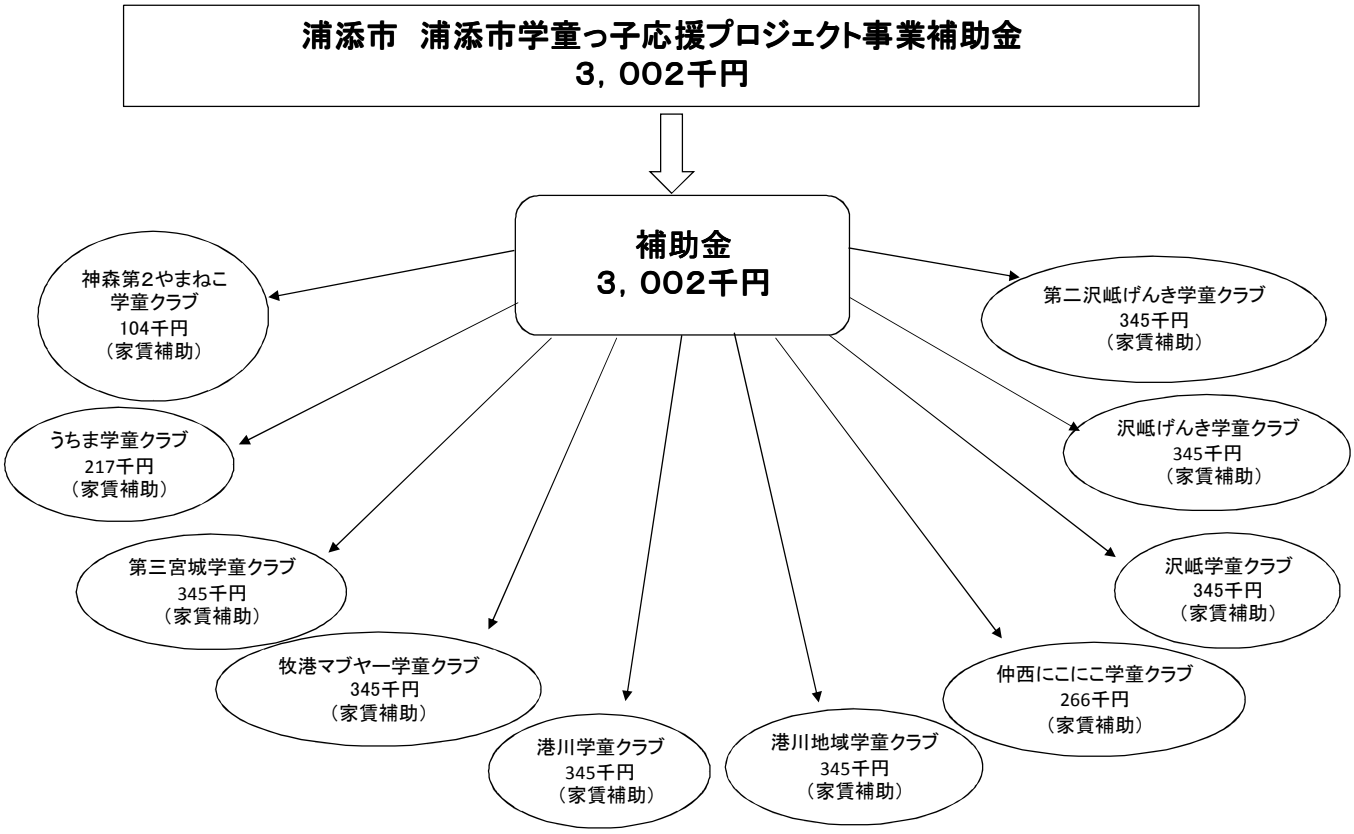
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	学童クラブの利用を希望する保護者のニーズが高まっており、毎年、学童クラブ入所児童が増加している。この傾向については、今年度以降も続くと予想される。そのため、継続して本事業を実施し、保護者の就労支援や適切な環境での放課後児童の預かりが図られるよう、引き続き公的施設移行していない学童クラブへの支援を行なっていくと伴に、学童クラブの公的施設移行を進めていく。	学童クラブの公的施設移行については、計画的な公的施設の整備や活用できる公的施設の検討等、事業実施の所管課にとどまらず、市における実施計画や財源の確保等、関係部署と調整・連携しながら、長期的・段階的な実施になることから、今後も本事業を実施しながら、学童クラブの公的施設移行を推進していく。

今後の取り組み方針

公的施設へ移行していない学童クラブが、できる限り早くスムーズに公的施設入所できるよう関係部署と連携・調整を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,002	3,002	2,401	601	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	浦添市学童っ子応援プロジェクト実施規程に基づき補助金の交付対象となる学童の要件を適切に定めており、予算の規模、事業実施において、補助の上限額を設けて家賃補助を行うことで受益者の負担関係や費目・用途についても適正に取り扱われている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-①	災害時備蓄食糧購入強化促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　防災危機管理室	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

大規模な災害発生時においては、住宅や道路の破壊など、流通機能が一時的に停止し、特に島しょ県である本県は物資が届きにくくなることが想定されるため、大規模災害に備え防災計画に基づき、市の人口1／20の3日分の非常食糧を、地域の各避難所等に備蓄を行なう。(5年計画)

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,959				
	(b) 予算現額	1,959				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,959	0			
B. 執行済額		1,330				
うち交付金充当額		1,064				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		67.9%				

予算の状況の説明：不用額の629千円については、入札残によるものである。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
非常用食糧の備蓄数	目　標	（10,236食）	（　）	（　）	（　）
	実　績	14,800食			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：避難所4箇所（市内小学校）に食糧（各2,200食、4箇所合計8,800食）を備蓄し非常時における食糧の確保を行なった。
（※1避難所あたり避難者244名分の3日分の食糧）

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
非常用食糧の備蓄（市人口の5%の3食3日分の食糧）の20%	目　標	（0）	（20%）	（　）	（　）	（100%）
	実　績		28.9%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市内の避難所等4箇所（牧港小、港川小、内間小、神森小）の学校に非常用食糧(アルファ米）各2,200食を備蓄し災害に備えた。
必要最低限の食糧確保を行うことにより住民の安心に繋げた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	食糧の消費期限が5年となっており、5年後には新たな食糧の確保が必要となるため、計画的に備蓄する必要がある。また、災害の規模や状況によっては食糧不足が懸念されるため、住民自らが平時より備えとして食糧を確保する必要がある。	行政による食料備蓄のほか、地域住民に対しても防災講座や訓練等を通じて、食糧や身の回り品の家庭内備蓄を励行していく。
	備蓄食糧（アルファ米）の賞味期限は5年間となっているが、防災倉庫（プレハブ倉庫）へ保管していることもあり、保管状況（温度や湿度）によっては劣化が早まることが懸念される。夏場の高温下での管理に注意が必要である。	定期的に点検を行い管理を徹底する。

今後の取り組み方針

人口増減や地域性も考慮し、的確に備蓄計画を進めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,330	1,330	1,064	266	0

浦添市 1,330千円 → 需用費(食糧費) 1,330千円 → 光洋商事株式会社 1,330千円（備蓄食糧（アルファ米）8,800食購入費）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は入札により選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-②	災害時備蓄食料保管倉庫等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　防災危機管理室	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

大規模災害が発生した場合、本県は島しょ県であるため物資が届くまで時間要することが予想されるため日頃からの備蓄が大変重要となる。備蓄食糧等を保管するための防災用備蓄倉庫の設置及びライフラインが停止した場合に備えて発電機や造水機などの防災用資機材の備蓄を行なう。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,668				
	(b) 予算現額	3,668				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,668	0			
B. 執行済額		3,258				
うち交付金充当額		2,606				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		88.8%				

予算の状況の説明：計画どおり執行することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
備蓄倉庫：4棟 発電機：4機 造水機：4機 簡易トイレ：4箇所	目　標	（備蓄倉庫：4棟 発電機：4機 造水機：4機 簡易トイレ：4箇所）	（　）	（　）	（　）
	実　績	備蓄倉庫：4棟 発電機：4機 造水機：4機 簡易トイレ：4箇所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：避難所4箇所（市内小学校）に防災備蓄倉庫を設置するとともに、発電機（1機）、造水機（1機）及び簡易トイレ（10個）を各避難所に設置した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
備蓄倉庫：4棟 発電機：4機 造水機：4機 簡易トイレ：4箇所	目　標	（0）	（備蓄倉庫：4棟 発電機：4機 造水機：4機 簡易トイレ：4箇所）	（　）	（　）	（備蓄倉庫：20棟 発電機：20機 造水機：204機 簡易トイレ：20箇所）
	実　績		備蓄倉庫：4棟 発電機：4機 造水機：4機 簡易トイレ：4箇所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：防災倉庫を設置し非常用の備蓄食料や防災用資機材を保管することにより、災害時において安定かつ継続的な避難所運営を行なうことができ、災害に強いまちづくりの推進を図ることができた。

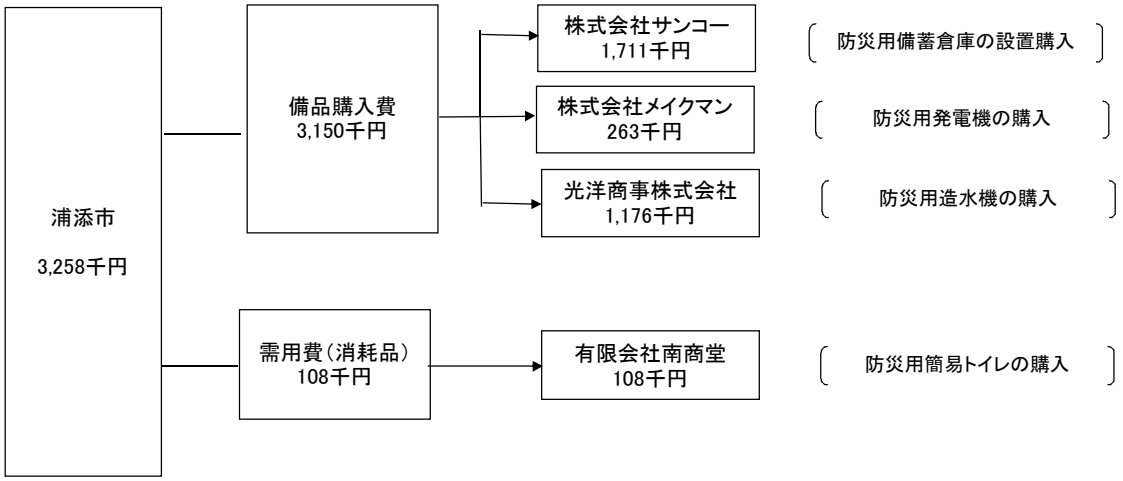
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	避難所を運営するにあたり、発電機の発電量や造水機の造水量、また簡易トイレの設置数などに不足が生じることが懸念される。	避難所の収容人数等から避難所運営に必要な量を算出し、発電及び造水能力の高い防災用資機材の設置に努める。

今後の取り組み方針

安定かつ継続的に避難所運営が可能となるよう必要量を確保していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,258	3,258	2,606	652	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	業者選定については、入札及び随意契約により選定を行なった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-③	減災まちづくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　防災危機管理室	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

地震や津波などの災害が発生した場合に、地域住民や観光客等が迅速かつ自主的に災害時の対応が可能となるように必要な防災情報（避難所や避難方向、海抜区分表示、土砂災害危険箇所等、日頃の防災対策の基礎知識等）を地図上に示した防災マップを作成し、市内全世帯及び観光施設等事業所に配布する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,184				
	(b) 予算現額	2,184				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,184	0			
B. 執行済額		2,132				
うち交付金充当額		1,705				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.6%				

予算の状況の説明：計画どおり執行することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
防災マップ配布数	目　標	（　60,000枚　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	44,591枚			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：防災マップを市内全戸配布(43,932世帯　43,932枚)及び公共施設及び観光施設事業所等(324箇所　659枚)へ配布を行なった。防災マップの配布により観光客、地域住民への防災情報の提供と平時からの災害に対する備えについて防災意識の普及啓発を図った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
防災マップ配布数	目　標	（　－　）	（　60,000枚　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		44,591枚			
【参考指標】浦添市観光協会会員事業所	目　標	（　－　）	（　78箇所　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		10箇所			

進捗状況説明：広報うらそえの折込により全戸配布(43,932世帯)及び公共施設(市内小中校、保育所等119施設　413枚)、事業所(205事業所　246枚)へ配布した。
目標を下回った要因については、事業所の配布が計画どおり進まなかったことと、事業所1ヶ所あたりの配布数が少なかったことによる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	防災マップへの掲載情報の変更（例、新たな避難所情報の追加、ハザード情報の追加等）などが発生した場合において、リアルタイムで最新の情報発信が困難となる。	防災マップ情報の電子化を図り、インターネットを活用し随時情報の更新を行う。加えて、いつ何時災害が発生しても住民が情報を活用できるよう、スマートホン等においても防災マップが閲覧できるようにする。

今後の取り組み方針

観光客及び地域住民が外出時においても防災マップ情報を活用しやすい環境を整える。（インターネットを活用した情報の発信など）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,132	2,132	1,705	427	0

浦添市 2,132千円 → 委託料 2,132千円 → 株式会社東洋企画印刷 2,132千円（防災マップ製作費にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者については、入札により選定を行なった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-①	航空機騒音基礎調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－ア 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
担当部課名	企画部企画課	事業実施（予定）年度	平成24年度～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2－(5)

事業内容

普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生し、市民生活に大きな影響を与えていることから、市内3箇所に騒音測定器を設置し、騒音被害の具体的なデータを収集分析する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	0				
	(b) 予算現額	18,900				
	(c) 増減額 (b-a)	18,900				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	18,900	0			
B. 執行済額		18,900				
うち交付金充当額		15,120				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：計画どおり予算執行することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
航空機騒音測定器の設置箇所数	目　標	（　3箇所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3箇所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：事業計画どおり航空機騒音自動監視装置を設置。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
航空機騒音測定器の設置箇所数	目　標	（　－　）	（　3箇所　）	（　）	（　）	（　－　）
	実　績		3箇所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：航空機騒音自動監視装置を設置したことにより騒音被害の客観的データを測定することができる。

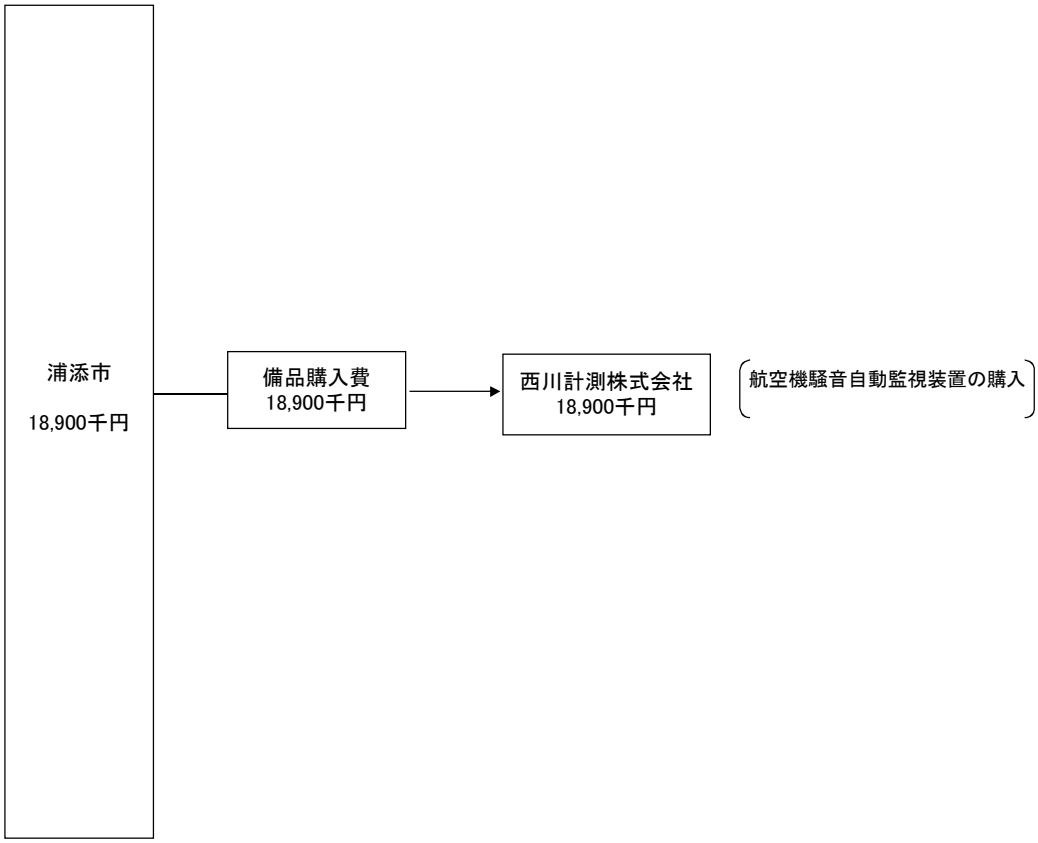
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（ア）沖縄県は例年のように台風が襲来するため、航空機騒音を集音する屋外用マイク等が破損し、測定ができない期間の生ずることが懸念される。 （イ）騒音データの欠損期間が長期化すると、測定結果の信憑性が低下することが懸念される。	●航空機騒音データの欠損期間を長期化させないために、速やかに代替機を設置する等、十分な維持管理・保守を実施する必要がある。

今後の取り組み方針

●航空機騒音データの正確な数値、データの把握に努める

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,900	18,900	15,120	3,780	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は、一般競争入札において選定しており妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-②	戦災滅失戸籍等沖縄戸籍関係書類システム化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ 戦後処理問題の解決
担当部課名	市民部　市民課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-12

事業内容

戦禍により滅失し、戦後再生された沖縄戸籍は、現在、紙原本で約86,000枚の書類として保管されている。紙原本劣化による散逸の危険性を除去するため、電子化して保存する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	46,305				
	(b) 予算現額	46,305				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	46,305	0			
B. 執行済額		43,438				
うち交付金充当額		34,750				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		93.8%				
予算の状況の説明		2,867千円の不要額が生じているが、当初想定されていたサーバのハードディスク増設が不要と判明し、また一枚ずつスキャニング作業をしていくうちに含まれないとされたもの（写し等の資料）があったためで、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
沖縄関係戸籍の電算件数	目　標	（77,080件）	（　）	（　）	（　）
	実　績	77,080件			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：沖縄関係戸籍の電算化によって、懸念されていた紙原本の劣化による情報資産散逸の危険性の回避がされ、また証明事務の効率化が図られた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
沖縄関係戸籍の電算化率	目　標	（－）	（100%）	（　）	（　）	（　）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：沖縄関係戸籍の電算化によって、懸念されていた紙原本の劣化による情報資産散逸の危険性の回避がされ、また証明事務の効率化が図られた。

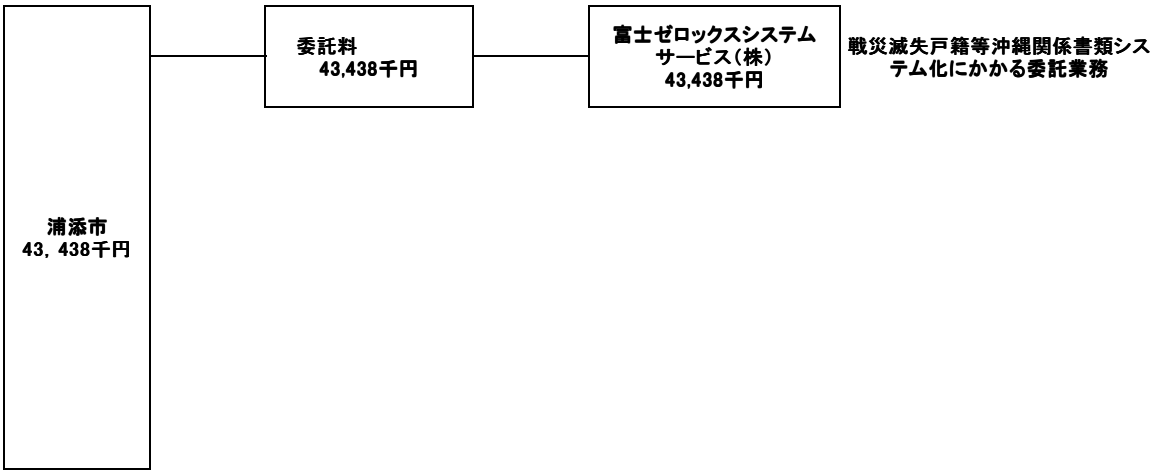
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	市民課内の戸籍総合システム内にて情報を管理保管し、住民及び各関係機関からの請求に対し、証明発行その他手続き業務を行う。	情報資産のバックアップ等二元的管理も視野に入れて、高セキュリティの確保が必要。

今後の取り組み方針

情報資産のバックアップ等の二元的管理も視野に入れ、高セキュリティを確保していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
43,438	43,438	34,750	8,688	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○現在、戸籍システムの改修委託業務については、システムを構築した「富士ゼロックス株式会社」以外に対応できる会社がないうえ、実績、知識等を勘案した上でも妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14－③	里道及び水路の境界確定復元事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
担当部課名	都市建設部　道路課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12

事業内容

戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	60,000				
	(b) 予算現額	29,987				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 30,013				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	29,987	0			
B. 執行済額		29,987				
うち交付金充当額		23,989				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：執行方法の検討に時間を要し、執行期間が短くなったため当初予算の執行が困難になり減額補正して執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
約125kmの里道及び水路表示登記延長率（全体(125km)に占める整備率）	目　標	（里道・水路の位置確定率）	（　）	（　）	（　）
	実　績	0			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：表示登記の前段階の基準点測量を実施したため、実績に反映されていない。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
里道及び水路の位置確定率	目　標	（－）	（里道・水路の位置確定率）	（　）	（　）	（100%）
	実　績		0			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：表示登記の前段階の基準点測量を実施したため、実績に反映されていない。

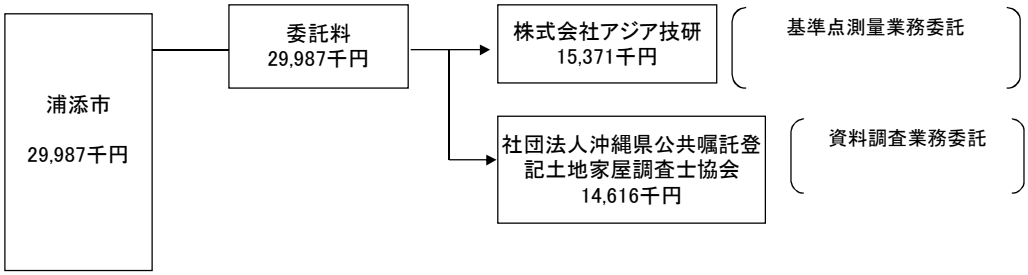
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	里道及び水路の境界確定の作業工程に沿って、資料調査、基礎測量（2基準点設置）を行った。執行期間が短かったことと作業量が膨大であるため作業工程が思うように進まなかった。	執行方法として分離発注する等作業効率を上げる必要がある。

今後の取り組み方針

今後の取り組み方針として、境界確定のための3級基準点を設置した後は、区域ごとに用地測量、境界確定及び表示登記を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,987	29,987	23,989	5,998	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○基準点測量委託事業者は指名競争入札により決定した。 ○資料調査業務委託の契約相手については地積測量図作成のための資料調査であることと、業務量が膨大であること等から市内部で発注方法について十分検討を行い、社団法人沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会との単価契約による随意契約として事業を執行した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-④	牧港補給地区跡地利用計画基本計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章3(13) 駐留軍用地跡地の計画的な整備
担当部課名	企画部　企画課	事業実施（予定）年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8

事業内容

平成18年に在日米軍再編協議において全面返還が合意された牧港補給地区において、返還後、速やかな事業着手が行えるよう跡地利用基本計画の資料を作成した。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	0				
	(b) 予算現額	15,173				
	(c) 増減額 (b-a)	15,173				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	15,173	0			
B. 執行済額		15,173				
うち交付金充当額		12,138				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：平成24年度に要望、採択された沖縄振興特別推進交付金にて当該年度内完了済み。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
浦添市軍用地跡地利用計画審議委員会への審議資料の作成	目　標	（　資料の作成　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	資料の作成			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：審議会における牧港補給地区の跡地利用基本計画の策定に資し、浦添市長へ答申することへ寄与した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
跡地利用基本計画の策定	目　標	（　－　）	（基本計画の策定）	（　）	（　）	（　－　）
	実　績		基本計画の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：審議会における牧港補給地区の跡地利用基本計画の策定に資し、浦添市長へ答申することへ寄与した。
市長への答申後、当該計画の実現へ向けて市民及び地権者説明会を開催し、計画内容の周知と合意形成の構築、及び実効性を高める手法を検討している。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・ 本事業において作成した基本計画の実施に向けて「沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法」の政令等における適用の検討、適用の可否。 ・防衛省補助事業活用の適否。 ・地権者の事業推進への合意形成。	・市民及び地権者の意見を実施計画に反映させ、事業の実現性を高める。

今後の取り組み方針

・市民及び地権者へ基本計画の周知及び合意形成。
・市民及び地権者意見の実施計画への反映。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,173	15,173	12,138	3,035	

浦添市 15,173千円 → 委託料 15,173千円 → 委託事業者 15,173千円

（牧港補給地区の跡地利用基本計画の策定にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要の可否等を額の確定時において支出に関する書類等により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-⑤	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章3(13) 駐留軍用地跡地の計画的な整備
担当部課名	企画部　企画課		事業実施（予定）年度	H24年度～H33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8

事業内容

牧港補給地区の跡地利用を円滑に進めるためには、計画段階から地権者との協働を図る必要がある。そのため、地主会と連携を図り、地主会の若手が組織を自立化できるよう支援する目的で、跡地利用に関する勉強会等を実施した。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	0				
	(b) 予算現額	1,470				
	(c) 増減額 (b-a)	1,470				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,470	0			
B. 執行済額		1,470				
うち交付金充当額		1,176				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：平成24年度に要望、採択された沖縄振興特別推進交付金にて当該年度内完了済み。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援	目　標	（　3回　）	（　　）		（　　）
	実　績	3回			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：地主会の若手が組織を自立化できるよう支援する目的で、跡地利用に関する勉強会等を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援	目　標	（　－　）	（　3回　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		3回			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援を引き続き行う。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・市民及び地権者の活動会員の拡大。	・市民及び地権者のまちづくり活動会員数の拡大を図り、跡地計画の周知、意見の反映、事業の実現性を高める。

今後の取り組み方針

・まちづくり活動会員数の拡大。

H25年度目標
地区内字数（8）×地区代表者数(2)＝16人

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,470	1,470	1,176	294	

浦添市 1,470千円 → 委託料 1,470千円 → 委託事業者 1,470千円

（牧港補給地区の地権者活動の支援にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は都市計画及び土地区画整理に関して高い技術力を有する企業を選定しており、企業組織、実績、知識等を勘案した上で妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-⑥	牧港補給地区情報システム事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章3(13) 駐留軍用地跡地の計画的な整備
担当部課名	企画部　企画課	事業実施（予定）年度	H24年度～H33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8

事業内容	牧港補給地区に関する情報を適正に管理するため、土地及び地権者情報をデータベースによるシステム化を図る。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	0				
	(b) 予算現額	2,657				
	(c) 増減額 (b-a)	2,657				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,657	0	0	0	0
B. 執行済額		2,657	0	0	0	0
うち交付金充当額		2,125				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：平成24年度に要望、採択された沖縄振興特別推進交付金にて当該年度内完了済み。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
牧港補給地区の土地及び所有者情報システムの構築	目　標	（　システムの構築　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	システムの構築			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：土地及び地権者情報をデータベースによるシステムを構築した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・牧港補給地区の所有権の変化に対応した情報の把握・維持	目　標	（　　）	（情報の把握・維持）	（　　）	（　　）	（　－　）
	実　績		情報の把握・維持			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：土地及び地権者情報のデータベースによるシステムを構築した。当該システムの適正な維持管理を引き続き行う。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・個人情報流出に対して万全の制度を設ける必要がある。	沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法に駐留軍用地についての調査及び測量の実施に関するあっせんが規定されたことから、今後は基地内への立ち入り、現場調査が可能となることが予想される。 これら現場資料、また牧港補給地区に関する文化財等の資料の入手時において、属性データを追加して、事業実施へ資す。

今後の取り組み方針

沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法に規定する特定事業の用に供する土地についての情報を本システムを活用して取得し、同法に規定する土地を譲渡しようとする場合の届出義務、土地の買取り希望の申出、土地の買取りの協議及び総合整備計画等への活用に資したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,657	2,657	2,125	532	

浦添市 2,657千円 → 委託料 2,657千円 → 委託事業者 2,657千円

（牧港補給地区の地権者活動の支援にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は本市の資産税情報の管理を行っており、個人情報の取り扱い、保護及び管理システムに関して高い技術力を有する。企業の選定については、企業組織、実績、知識等を勘案した上で妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認した結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-⑦	学校施設騒音測定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－ア 米軍基地から派生する諸問題への対応
担当部課名	指導部　学務課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－8

事業内容

普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生していることから、児童生徒の学習環境づくりに資するため、騒音測定器を市内16の小中学校に設置し、教室内の航空機騒音の正確な数値を把握する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,234				
	(b) 予算現額	2,234				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,234	0			
B. 執行済額		2,084				
うち交付金充当額		1,667				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		93.3%				
予算の状況の説明		当初予定していた事業内容は実施。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市内小中学校への騒音測定器設置(16台)	目　標	（16台）	（　）	（　）	（　）
	実　績	16台			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市内小中学校への騒音測定器設置（16台）した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（24年度）
市内小中学校への騒音測定器設置率	目　標	（－）	（100%）	（　）	（　）	（100%）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：1ヶ月に1度教室内の騒音を測定し教育委員会へ報告。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・教室内での航空機騒音の測定をしたいが、測定準備をしている間に通り過ぎる等、測定のタイミングが難しい。	・学校との連携により、今後も教室内での騒音測定を実施し、また、航空機騒音のみならず、学校環境衛生基準値を超えている学習環境にある学校の把握をし、学習環境の改善に資する。

今後の取り組み方針

・正確な数値・データを把握することに努める。
・航空機騒音被害の具体的把握により、国・米軍側へ騒音軽減の要請活動を実施する際の資料として活用する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,084	2,084	1,667	417	

浦添市 2,084千円 → 備品購入費 2,084千円 → 西川計測株式会社 2,084千円 → 騒音測定器購入 16台

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○一般競争入札により執行され、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14－⑧	浦添市「未買収道路用地取得」基金造成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
担当部課名	都市建設部　道路課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12

事業内容

戦後及び本土復帰の動乱期において、権利の補償をせずに整備した市道の用地補償措置を計画的及び柔軟に対応するため、基金を造成し、補償を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,213,697				
	(b) 予算現額	1,213,697				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,213,697	0			
B. 執行済額		1,213,697				
うち交付金充当額		970,957				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：計画どおりに執行することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市道の未買収道路用地取得で市事業内容は用地測量、不動産鑑定、用地取得業務。 補償対象面積、約56,000㎡ 補償筆数約2,500筆	目　標	（18,578㎡）	（　）	（　）	（　）
	実　績	0			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：執行期間が短かったため目標達成できなかった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
基金の積み立て：13億円	目　標	（－）	（13億円）	（　）	（　）	（38億5千万円）
	実　績		1,213,697千円			
用地測量（基準点1級・2級）及び里道、水路の境界確定復元事業資料調査委託	目　標	（　）	（調査委託の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		調査委託の実施（基準点1級・2級の設置）			

進捗状況説明：積立て及び基準点1級・2級の設置を行うことができた。

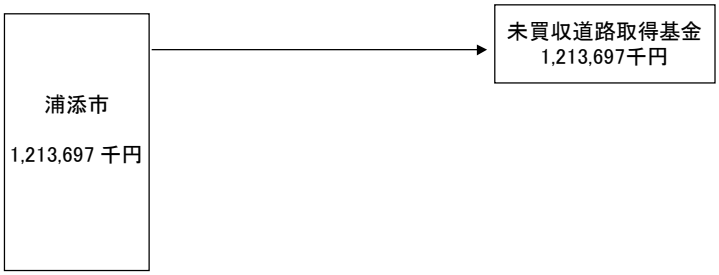
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成24年度は、基金の積立て、基準点1級・2級の設置及び沖縄振興特別推進交付金未買収道路用地取得基金条例の制定を行ったが、交付より執行期間が短かった為、その他の活動目標内容については、執行できなかった。 平成24年度より、基準点の設置をしているが、市内全域にかかるため、業務量が膨大である。 今後、浦添市「未買収道路用地取得」基金造成事業を進めていく上では、立会を要する用地測量及び取得の為の交渉は、対人業務であり、難航が予想される。	未買収道路の現状把握をしっかり行い計画的に執行することが必要。 今後、用地測量業務を進めていく中から、地権者との相互理解を深めていけるよう努力し、内部で検討を進めていく。

今後の取り組み方針

・潰れ地路線のデータを把握し、優先順位の検討を行い、年度ごとに決定された路線における用地測量委託、用地買収業務を行う。
・基準点3級の設置が、平成25年8月末に完了予定である。その後、その基準点をもとに、検討された優先路線から用地測量業務を進めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,213,697	1,213,697	970,957	242,740	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業計画どおり積み立てることができた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	